

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**注意**

- 設置場所を確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- フェンスは隣地境界線を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。

**ポイント**

- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
 - ・平らな場所に保管してください。（立てかけて置かないでください）
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

注意

- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：1.5N・m
 - ・φ5ネジ：3.0N・m
- 支柱の水拭き穴は、モルタル等でふさがらないでください。

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行い、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行なってください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

INDEX

1	梱包明細表	3	6	柱の埋込み	19
2	施工時の重要注意事項	6	7	笠木取付金具の取付け	20
3	基本寸法と各部名称	6	8	パネルの事前準備	22
	1. 各部名称	6		1. パネルの切詰め	22
	2. 基本寸法図	8		2. 下棧の切詰め	25
	3. 納まり図	9	9	パネルの取付け	26
4	柱の事前準備	11		1. 下棧の取付け	26
	1. ベース仕様	11		2. パネルの取付け	27
	2. 埋込仕様	13	10	笠木の取付け	30
5	柱の取付け	14	11	施工後の仕上げ	32
	1. 正面床板固定の場合	14		1. ベースプレートカバーの取付け	32
	2. 正面大引固定の場合	15		2. 仕上げ	32
	3. 側面床板固定の場合	17			
	4. 側面床板補強材固定の場合	18			

1 梱包明細表

【1】主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数		
		T-8	T-10	T-12
笠木用主柱（ベース仕様）		1	1	1
柱下側スリーブ材		1	1	1
笠木取付金具		2	2	2
補強用インナー材		—	1	1
【1-1】φ4×20サラタッピンネジ3種		4	4	6
【1-2】φ4×16サラタッピンネジ3種		4	4	4
【1-3】φ5×40ナベタッピンネジ2種 G=5		4	4	4
【1-4】φ4×19ナベドリルネジ		4	4	4

【2】アルミ主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10・12
笠木用アルミ主柱（ベース仕様）		1	1
笠木取付金具		2	2
クッション材		2	2
補強用インナー材		—	1
【2-1】φ4×16サラタッピンネジ3種 D=6		4	4
【2-2】φ5×40ナベタッピンネジ2種 G=5		4	4
【2-3】φ4×19ナベドリルネジ		4	4

【3】主柱セット・埋込仕様

名 称	略 図	員 数
笠木用埋込主柱		1
笠木取付金具		2
【3-1】φ4×16サラタッピンネジ3種		4
【3-2】φ4×19ナベドリルネジ		4

【4】ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数		
		大引 固定用	床板 補強材 固定用	床板 固定用
ベースプレート		1	1	1
ベースプレート-大引 固定アングル		2	—	—
フェンス固定材		—	—	2
【4-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—
【4-2】φ5×70ナベドリルネジ		6	6	5
【4-3】M5×60トラス小ネジ		—	—	2

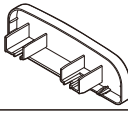
【5】笠木・下桟セット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		1スパン	2スパン	1スパン	2スパン
笠木		1	1	1	1
下桟		1	2	1	2
下桟受け部品		2	4	2	4
ゲージプレートD		1	1	1	1
修正用研磨紙		1	1	1	1
クッション材		4	8	6	12
【5-1】φ5×25ナベタッピンネジ3種		2	4	2	4
【5-2】φ4×25ナベドリルネジ		4	8	4	8

【6】切詰用笠木下桟取付金具（中間用）セット

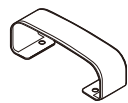
名 称	略 図	員 数
下桟受け部品		2
【6-1】φ5×25ナベタッピンネジ3種		2
【6-2】φ4×25ナベドリルネジ		4

【7】 笠木端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		2
【7-1】φ4×16サラドリルネジ		4
取付説明書<E358>	—	1

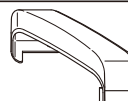
【8】 笠木中間部カバーセット

オプション

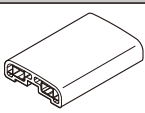
名 称	略 図	員 数
笠木中間カバー		1
【8-1】φ4×12ナベタッピンネジ1種		2

【9】 笠木90°コーナー部カバーセット

オプション

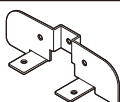
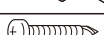
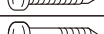
名 称	略 図	員 数
笠木コーナーキャップ		1
【9-1】φ4×12ナベタッピンネジ1種		1
【9-2】φ4×16サラタッピンネジ1種		1

【10】 笠木セット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		1ス/巾	2ス/巾	1ス/巾	2ス/巾
笠木		1	1	1	1
ゲージプレートC		1	1	1	1
修正用研磨紙		1	1	1	1

【11】 段違い笠木取付金具セット

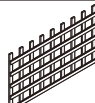
オプション

名 称	略 図	員 数
段違い笠木取付金具		1
【11-1】φ4×19ナベドリルネジ		1
【11-2】φ4×20ナベタッピンネジ 1種		2

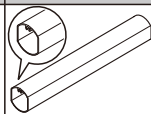
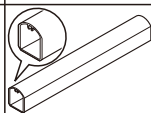
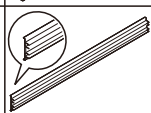
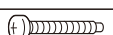
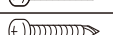
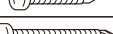
【12】 フラットラチスパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		W750	W1200
フラットラチスパネル		1	1

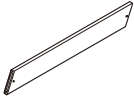
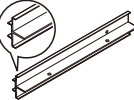
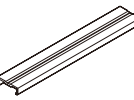
【13】 井桁格子パネルセット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		T-08	T-10	T-08 T-12	T-06 T-10
井桁格子パネル		1	1	1	1
格子パネル振れ止め		2	—	2	—

【14】 横ビームパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		W750 W1200	W750 W1200
		T-08	T-10
ビーム棧		2	3
下段用ビーム棧		1	1
ビーム棧枠材		2	2
ビーム棧枠材受け金具		2	2
クッション材		2	2
【14-1】φ4×20ナベタッピンネジ2種 G=5		6	8
【14-2】φ4×19ナベドリルネジ		2	2
【14-3】φ4×30ナベドリルネジ		4	4

【15】クロスパネルセット

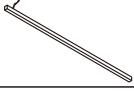
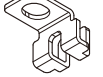
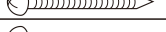
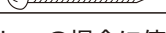
名 称	略 図	員 数 W1200
クロス棧		2
クロス棧枠材		2
下棧溝隠し材		1
クッション材		2
【15-1】φ5×30トラスタッピンネジ3種		4
【15-2】φ4×30サラドリルネジ D=6		4
【15-3】M4×45トラス小ネジ		1
【15-4】M5六角袋ナット		4
【15-5】M5平座金		8
【15-6】M5バネ座金		4
【15-7】M4六角袋ナット		1
【15-8】M4平座金		2
【15-9】M4バネ座金		1

【16】プライバシーパネルセット

名 称	略 図	員 数 W1200
ポリカパネル		1

【17】LED照明ユニット

オプション

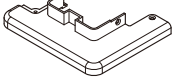
名 称	略 図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付金具		2
【17-1】φ4×8トラスタッピンネジ3種 (D=8) 生地		2
【17-2】φ4×50トラスタッピンネジ1種※1		2
【17-3】φ4×50トラスタッピンネジ1種※2		2

※1 生地色（配線カバーがシャイングレーの場合に使用）

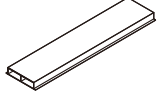
※2 ブロンズ色（配線カバーがマイルドブラック、オータムブラウンの場合に使用）

【18】ベースプレートカバーセット

オプション

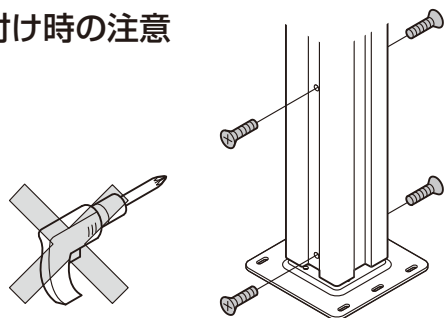
名 称	略 図	員数
70角柱ベースプレートカバー		2
70角柱ベースプレートカバー隙間塞ぎ		2
【18-1】φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6		2
【18-2】φ4×25サラタッピンネジ3種 D=6		2

【19】床板補強材セット

名 称	略 図	員数
床板補強材		1
大引アングル		4
【19-1】φ4×13ナベドリルネジ		20

2 施工時の重要注意事項

人工木の組付け時の注意



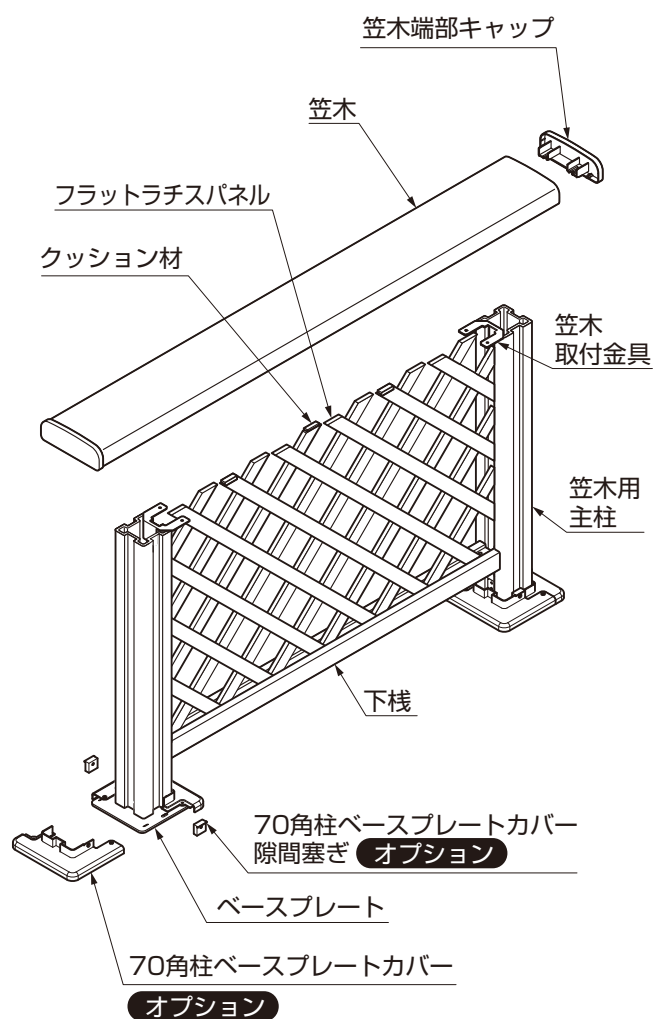
ポイント

- 人工木の取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れるおそれがありますので注意してください。

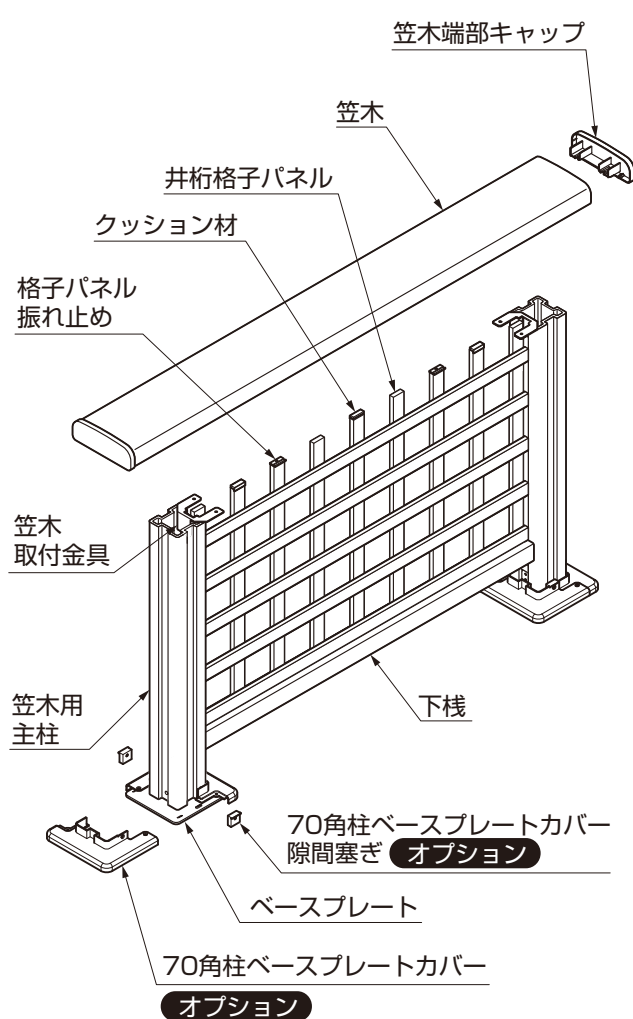
3 基本寸法と各部名称

1. 各部名称

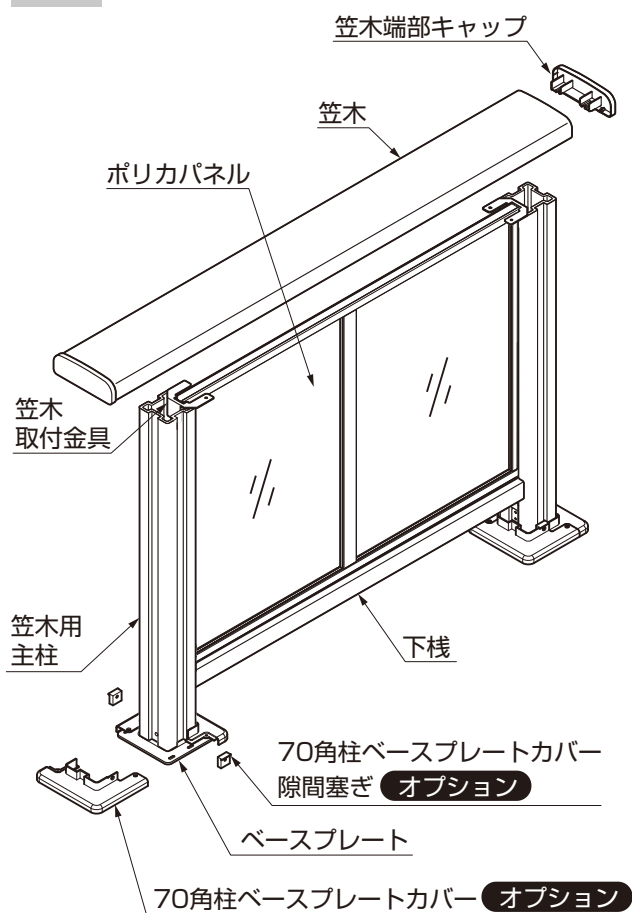
1-1 フラットラチスパネル仕様



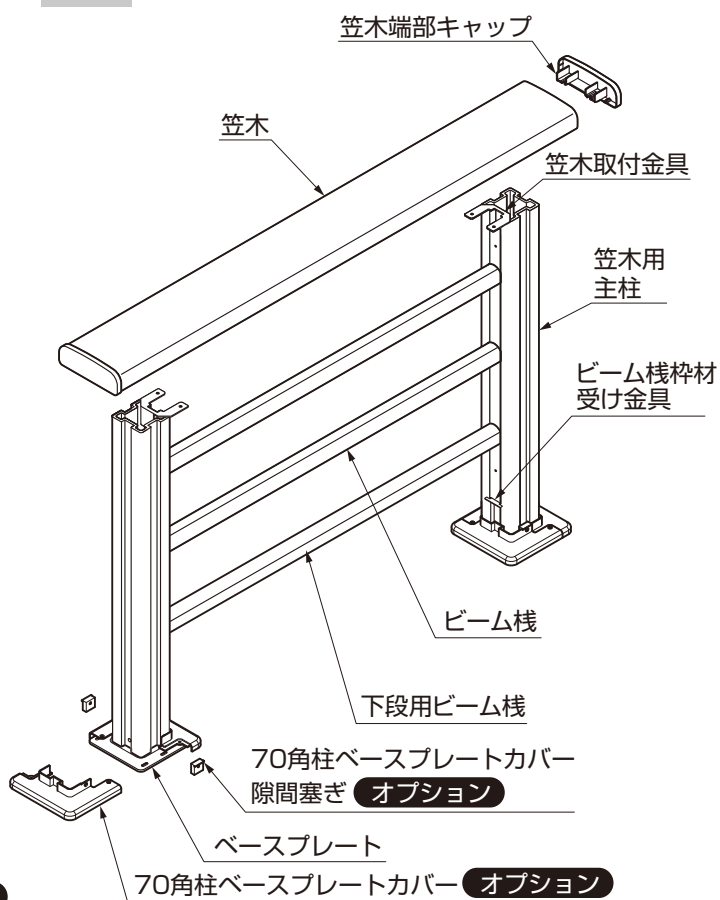
1-2 井桁格子パネル仕様



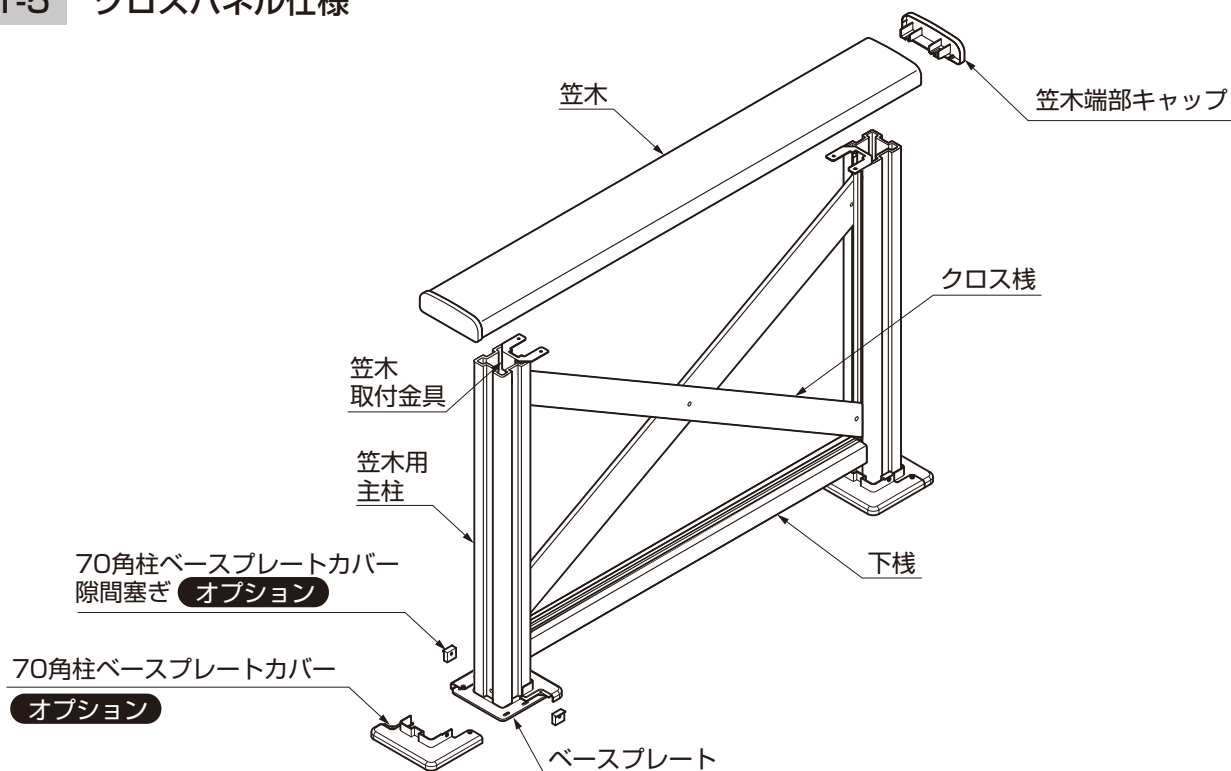
1-3 プライバシーパネル仕様



1-4 横ビームパネル仕様



1-5 クロスパネル仕様



2. 基本寸法図

2-1 ベース仕様

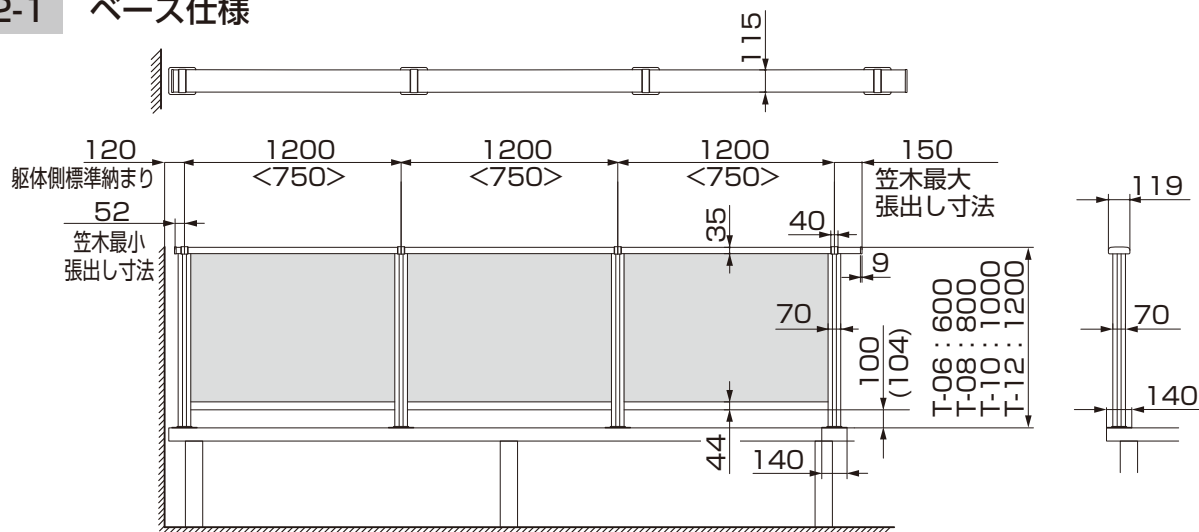


図2-1 ベース仕様

表2-1 各パネル対応表

W	H	フラットチス	井桁格子	クロス	横ビーム	プライバシー
1200	T-06	○	○			
	T-08	○	○	○	○	○
	T-10	○	○	○	○	○
	T-12	○	○			○
750	T-08	○	○		○	
	T-10	○	○		○	

補足

- () はクロスパネルの場合です。
- < > はパネルW750の場合です。

2-2 埋込仕様

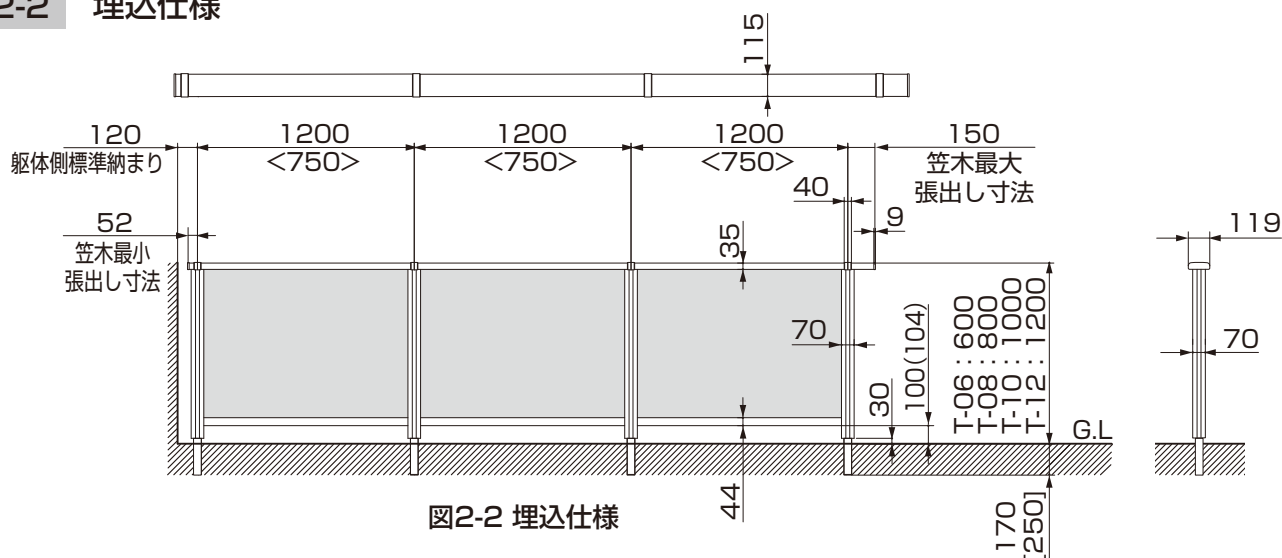


図2-2 埋込仕様

表2-2 各パネル対応表

W	H	フラットチス	井桁格子	クロス	横ビーム	プライバシー
1200	T-06	○	○			
	T-08	○	○	○	○	○
	T-10	○	○	○	○	○
	T-12	○	○			○
750	T-08	○	○		○	
	T-10	○	○		○	

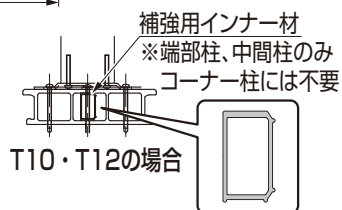
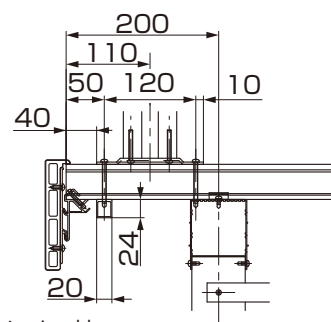
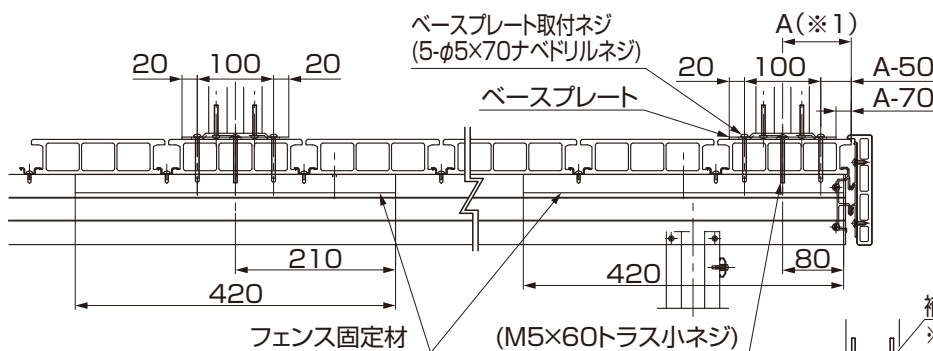
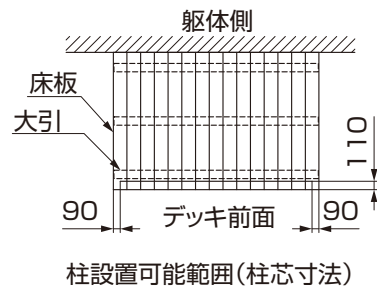
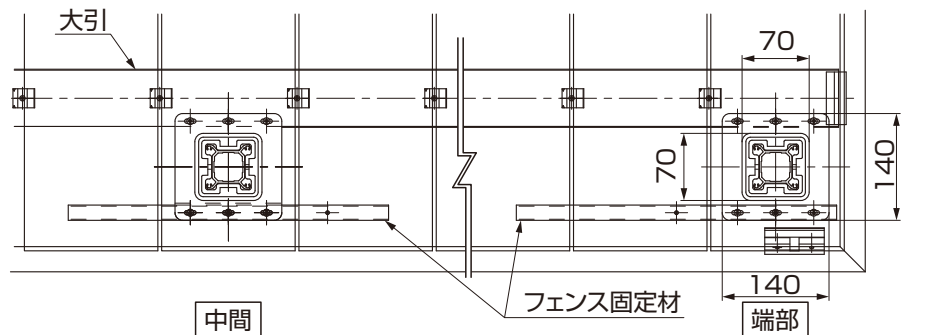
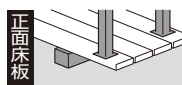
補足

- () はクロスパネルの場合です。
- [] はT-12の場合です。
- < > はパネルW750の場合です。

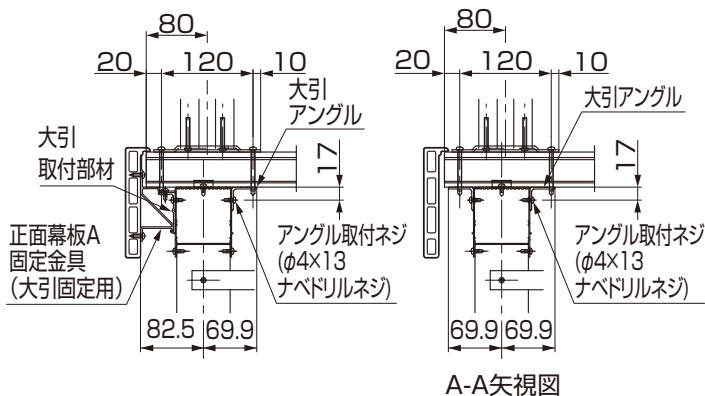
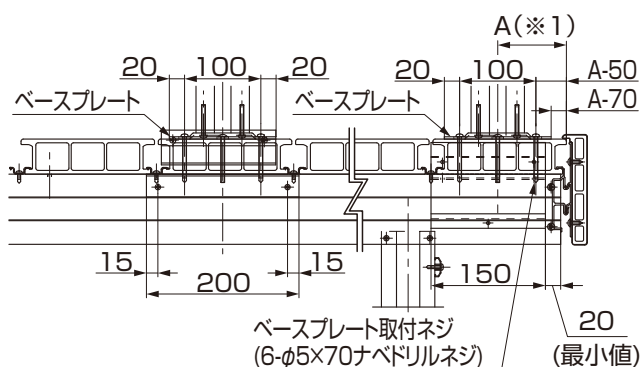
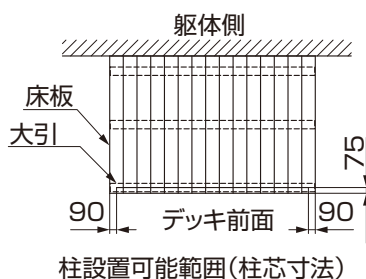
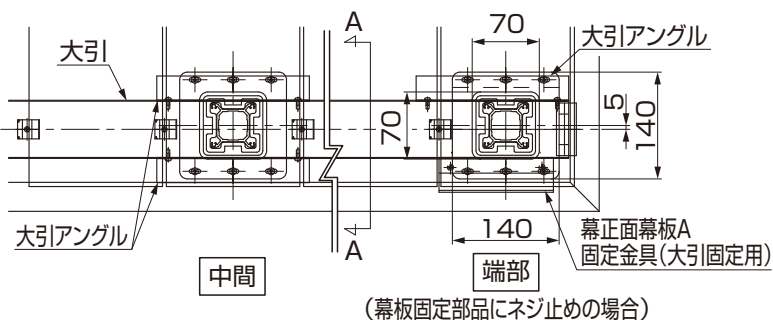
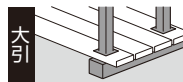
3. 納まり図

※図は樹ら楽ステージを示します。木彫も同様の納まりとなります。

3-1 正面床板固定の場合



3-2 正面大引固定の場合

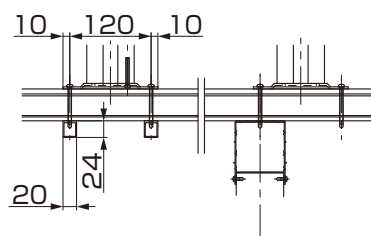
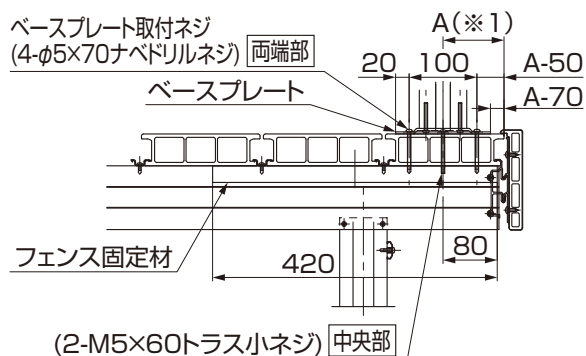
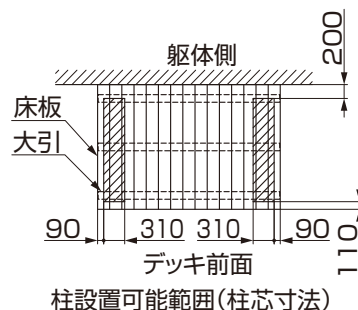
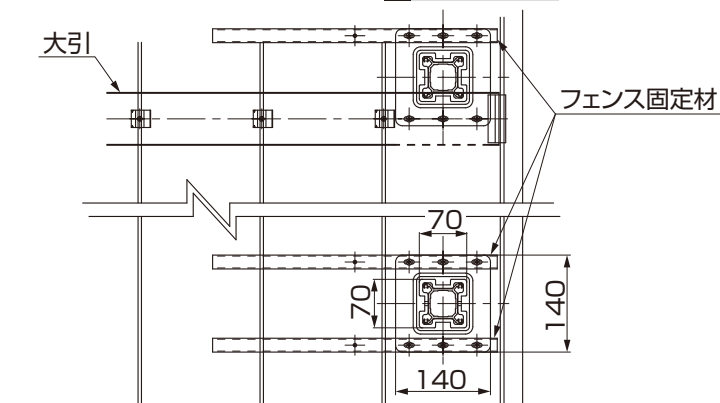
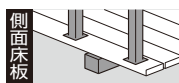


ポイント

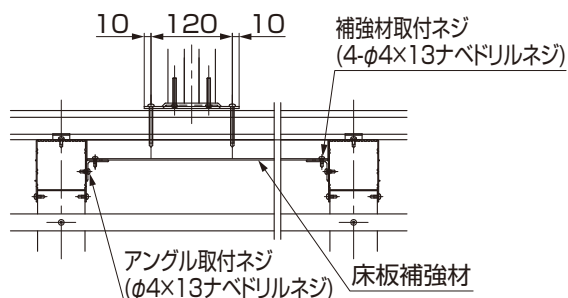
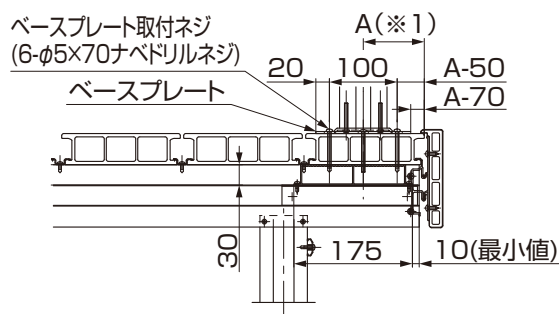
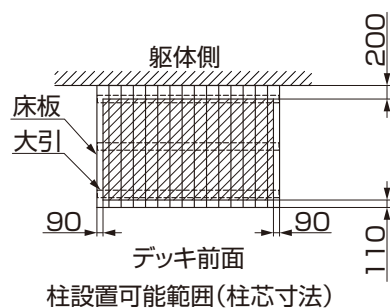
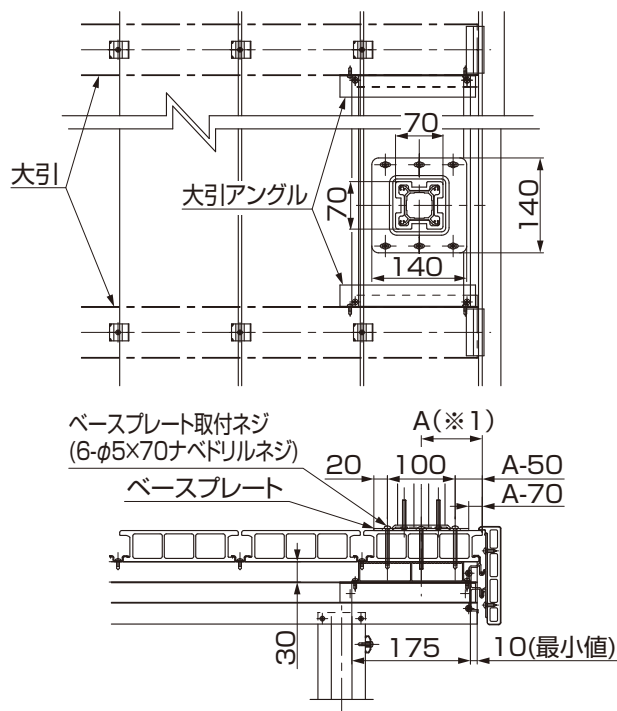
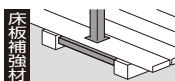
- A寸法値(※1)の最小値は90mmです。
- A寸法値(※1)の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

3. 納まり図 (つづき)

3-3 側面床板固定の場合



3-4 側面床板補強材固定の場合



ポイント

- A寸法値 (※1) の最小値は90mmです。
- A寸法値 (※1) の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

4 柱の事前準備

1. ベース仕様

1-1 柱の組立て

(1) 主柱の場合

 補足

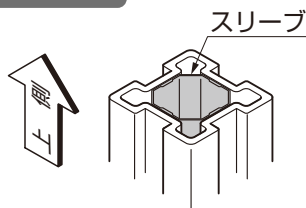


図1-1 主柱

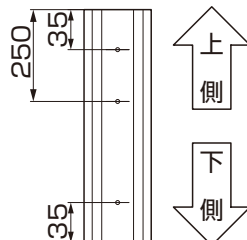


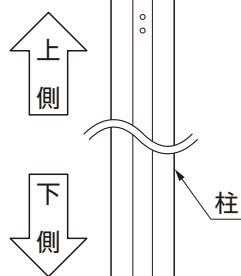
図1-2

T-12柱下側スリーブ材

- 主柱には上下の区別があります。スリーブが固定されている方が上側になります。(図1-1参照)
- T-12柱下側スリーブ材には上下の区別があります。(図1-2参照)

(2) 笠木用アルミ主柱の場合

 補足



- アルミ主柱には上下の区別があります。

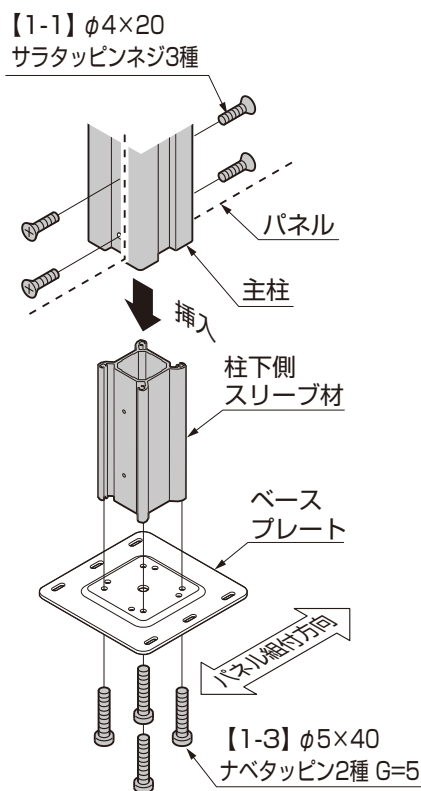


図1-3 正面固定の場合

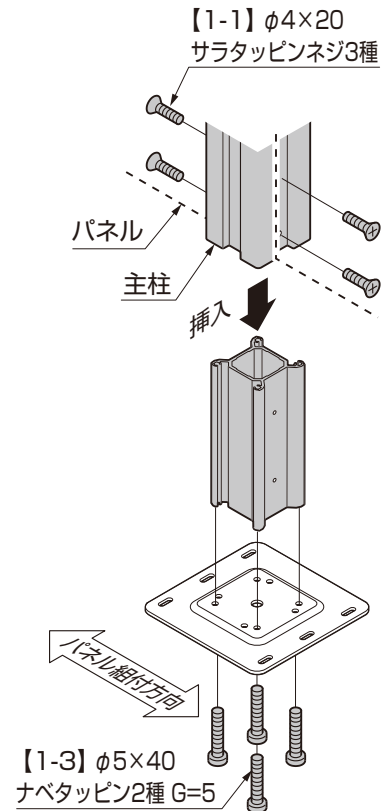


図1-4 側面固定の場合

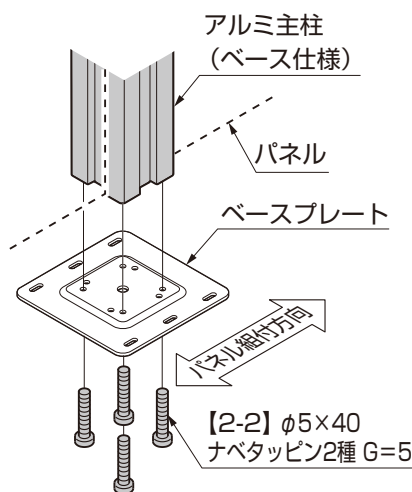


図1-5 正面固定の場合

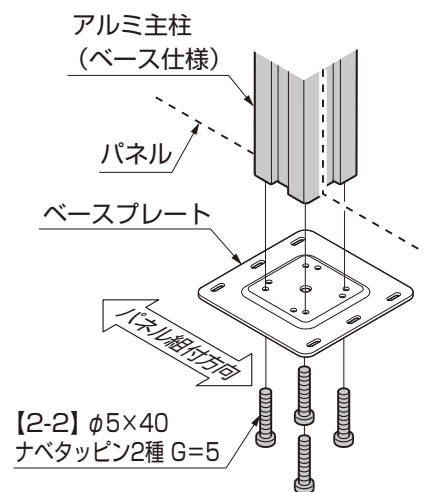


図1-6 側面固定の場合

- ①柱下側スリーブ材をベースプレートに【1-3】で取付けてください。(図1-3、図1-4参照)
- ②主柱を柱下側スリーブ材に【1-1】で取付けてください。(図1-3、図1-4参照)
- ③笠木用アルミ主柱(ベース仕様)をベースプレートに【2-2】で取付けてください。(図1-5、図1-6参照)

 ポイント

- 主柱の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れるおそれがありますので注意してください。

1. (つづき)

1-2 下棧受け部品の取付け

※下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。
※横ビームパネルでは行なわない作業です。

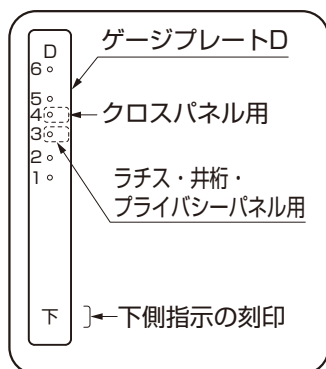


図1-6

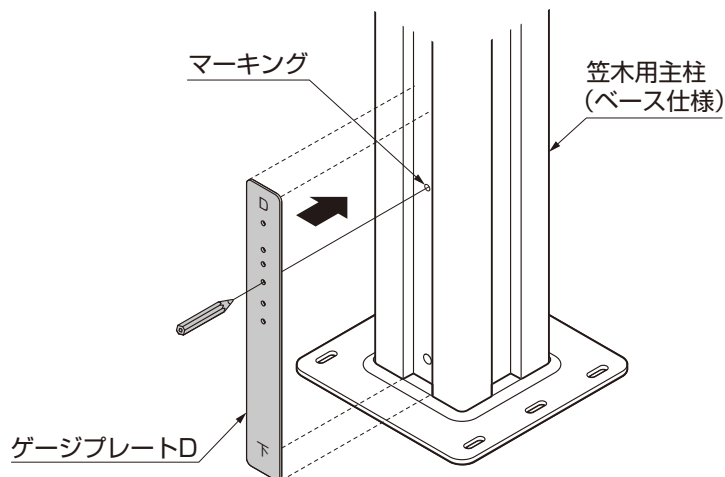


図1-7

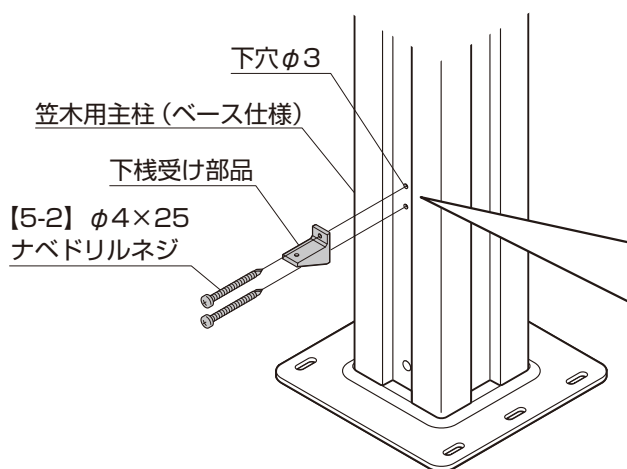
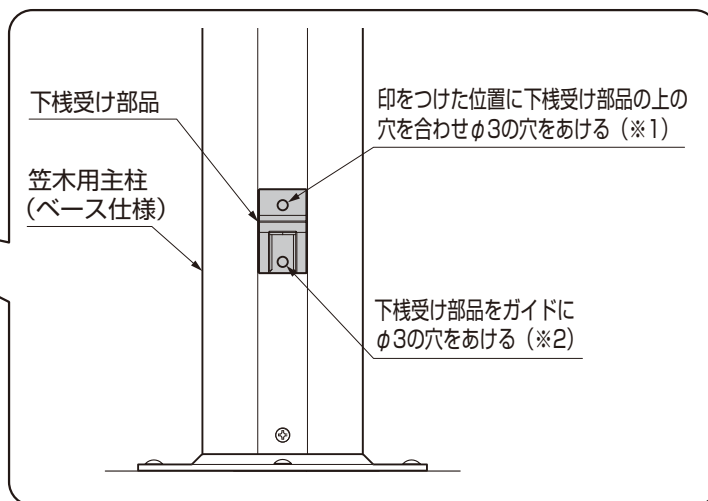


図1-8



ポイント

- ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図1-6参照)
- クロスパネルは「4」の穴を使用してください。それ以外のパネルは「3」の穴を使用してください。(図1-6参照)

- ①パネルを入れる側の面に、ゲージプレートDを使い、印をつけてください。(図1-7参照)
- ②印を付けた笠木用主柱(ベース仕様)の溝部のネジ位置に、φ3の下穴をあけてください。(※1)
- ③φ3下穴(※1)と下棧受け部品の穴を合わせ、笠木用主柱(ベース仕様)に【5-2】で取付けてください。
- ④下部の下穴φ3は下棧受け部品をガイドにしてあけてください。(※2)
- ⑤下棧受け部品を笠木用主柱(ベース仕様)に【5-2】で固定してください。

2. 埋込仕様

- 2-1 下柵受け部品の取付け** ※下柵の組付位置は、所定の高さから変更できません。
※横ビームパネルでは行なわない作業です。

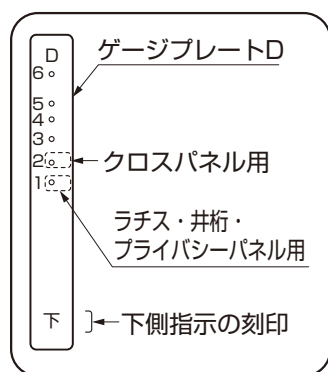


図2-1

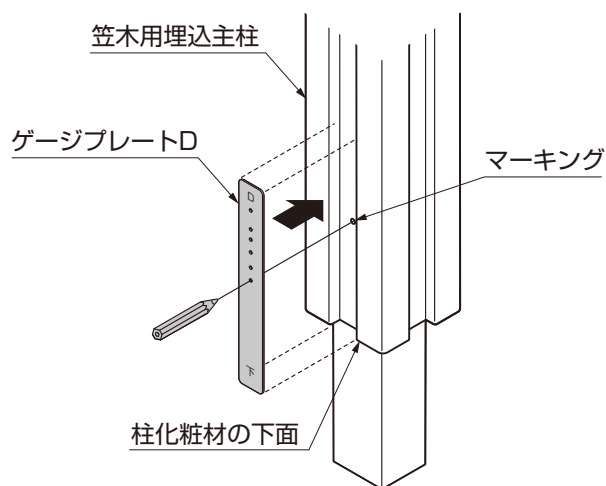


図2-2

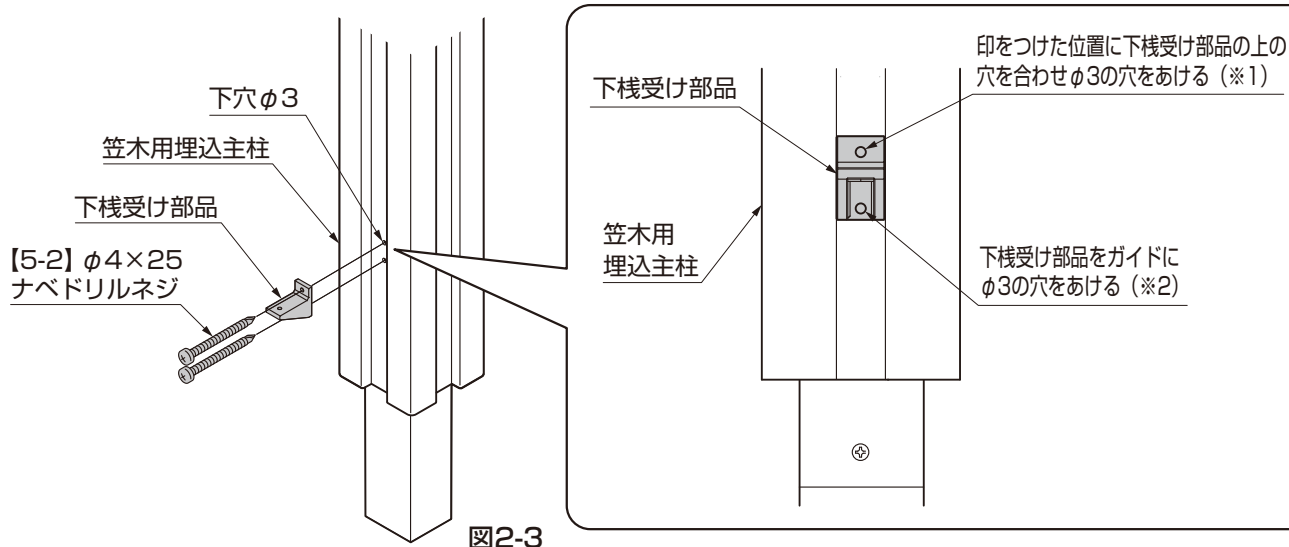


図2-3

ポイント

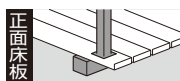
- ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図2-1参照)
- クロスパネルは「2」の穴を使用してください。それ以外のパネルは「1」の穴を使用してください。(図2-1参照)

- ①パネルを入れる側の面に、ゲージプレートDを使い、印をつけてください。(図2-2参照)
- ②印を付けた笠木用埋込主柱の溝部のネジ位置に、φ3の下穴をあけてください。(※1)
- ③φ3下穴(※1)と下柵受け部品の穴を合わせ、笠木用埋込主柱に【5-2】で取付けてください。
- ④下部の下穴φ3は下柵受け部品をガイドにしてあけてください。(※2)
- ⑤下柵受け部品を笠木用埋込主柱に【5-2】で固定してください。

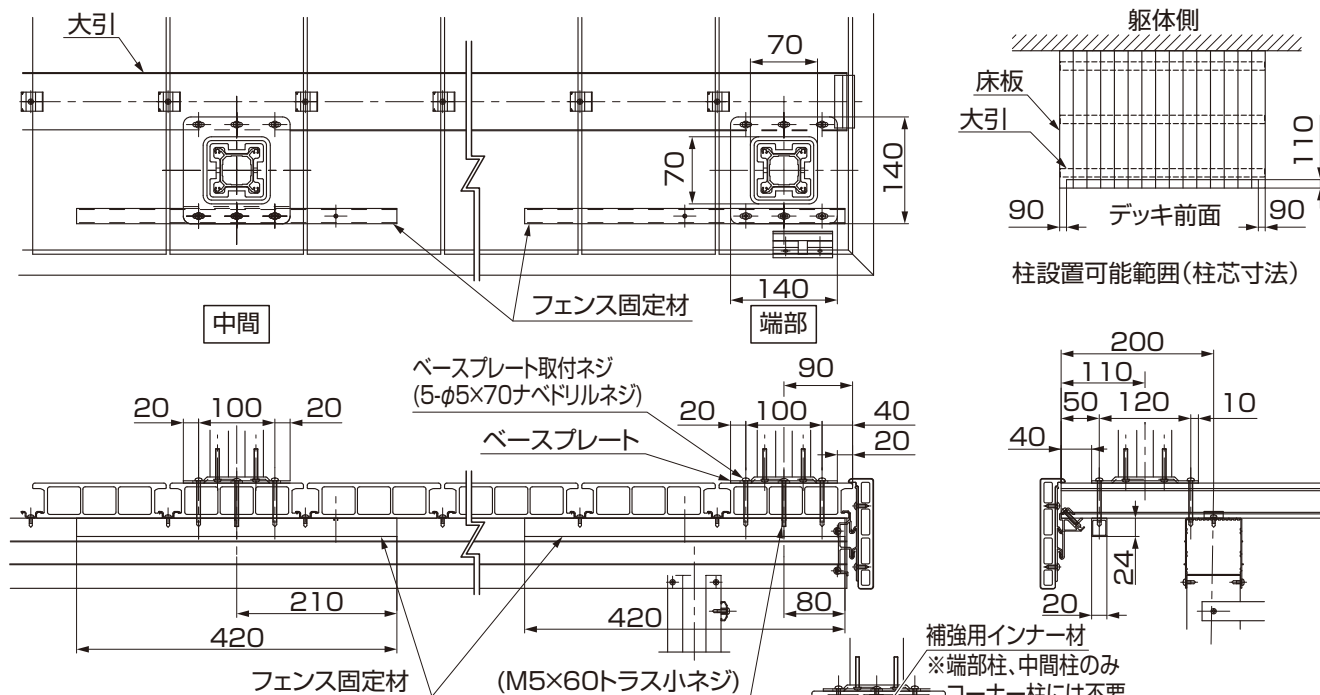
5 柱の取付け ※ベース仕様の場合のみ

※図は樹ら楽ステージを示します。
木彫も同様の施工となります。

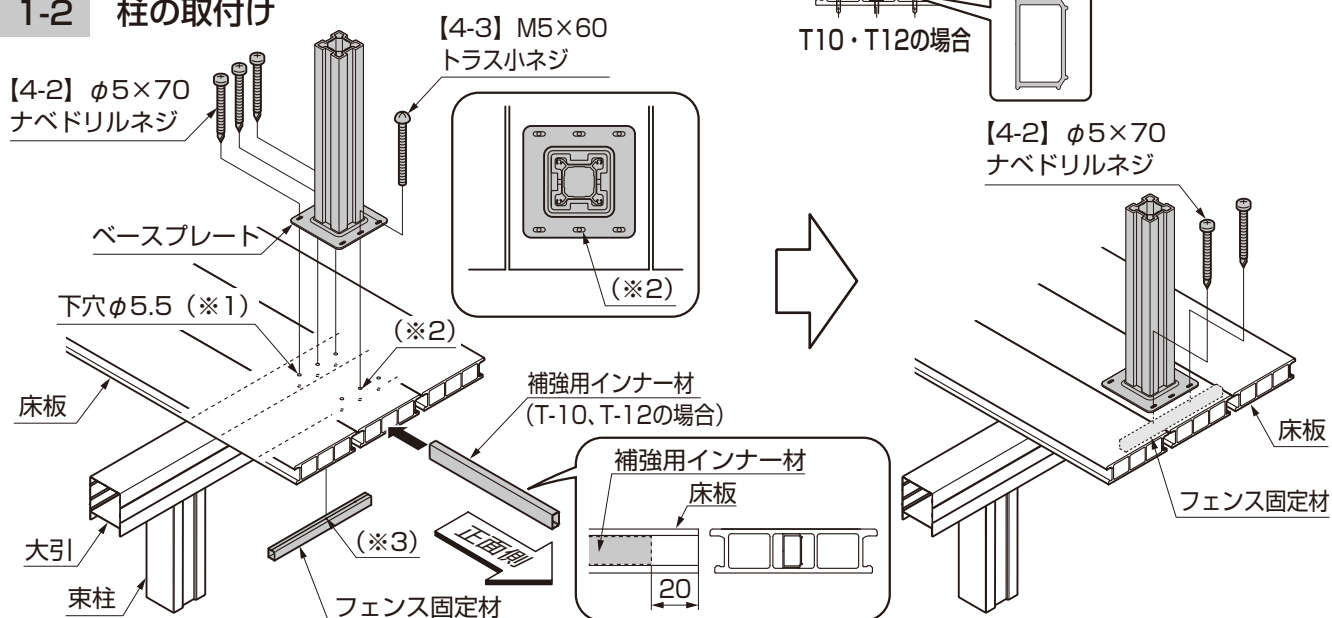
1. 正面床板固定の場合



1-1 柱設置位置の確認と位置決め



1-2 柱の取付け



①補強用インナー材を床板中央のホロー部に差し込み、床材端部から20mm内側に取付けてください。(T-10・T-12の場合)

ポイント

- 補強用インナー材はフェンス正面取付け時のみ使用します。
- フェンス取付け位置により補強用インナー材が中央に取付けられない場合は、左右いずれかのホロー部に取付けてください。

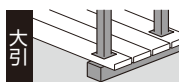
②ネジ位置をマーキングし、床板と補強用インナー材に貫通でφ5.5の下穴(※1)をあけてください。

③ベースプレートを大引に【4-2】で取付けてください。

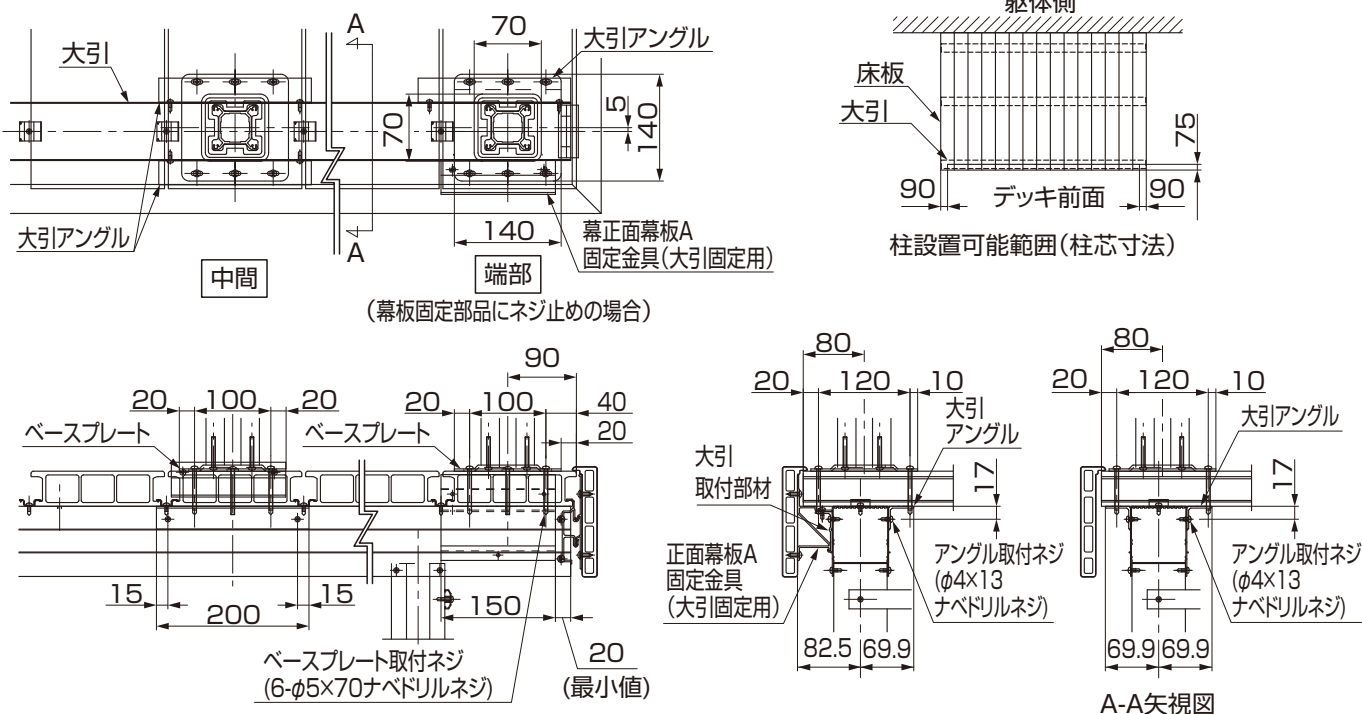
④床板に加工した下穴の中央(※2)とフェンス固定材のタップ穴(※3)を合わせ、【4-3】で取付けてください。

⑤フェンス固定材を【4-2】で固定してください。

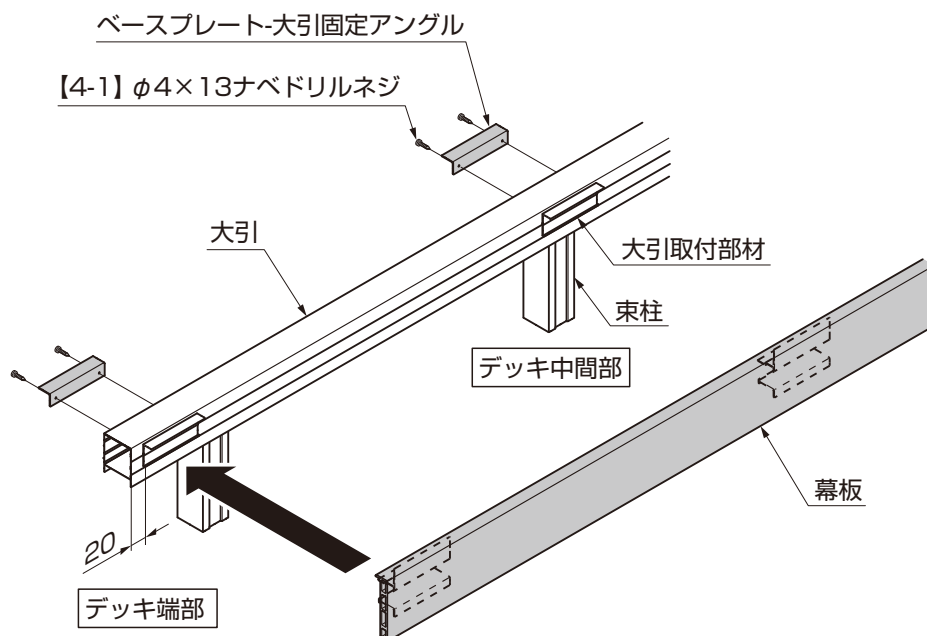
2. 正面大引固定の場合



2-1 柱設置位置の確認と位置決め



2-2 ベースの取付け ※イラストは幕板Aで説明していますが、幕板Bも同じ要領です。



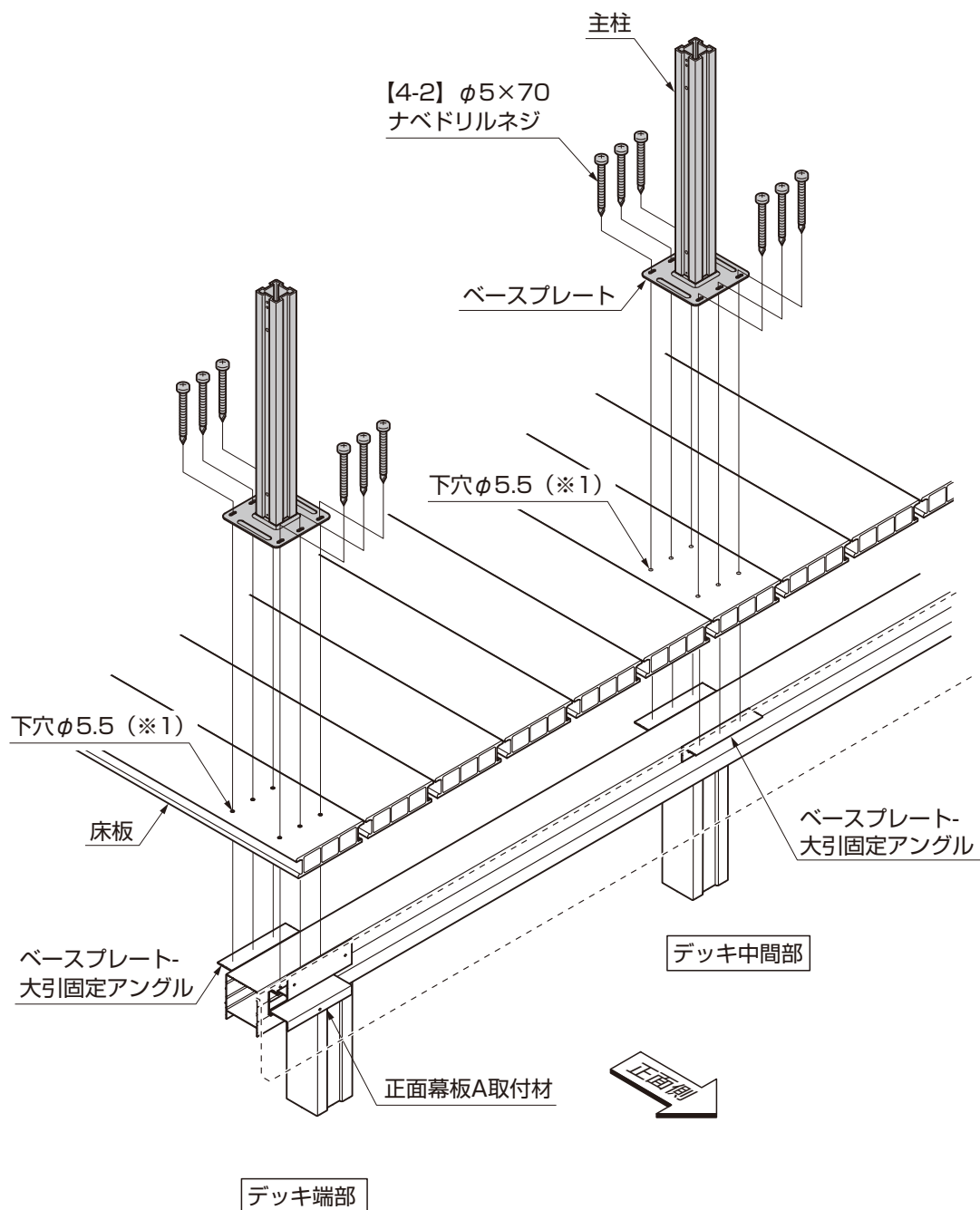
①大引にベースプレート-大引固定アングルを、【4-1】で取付けてください。

ポイント

- 正面幕板の取付詳細は、「樹ら楽ステージ 取付説明書〈E470〉または、樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書〈E423〉」を参照してください。

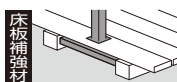
2. (つづき)

2-3 柱の取付け

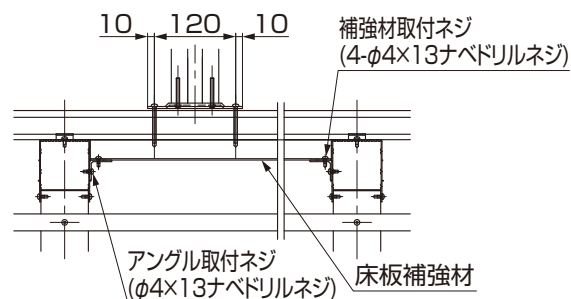
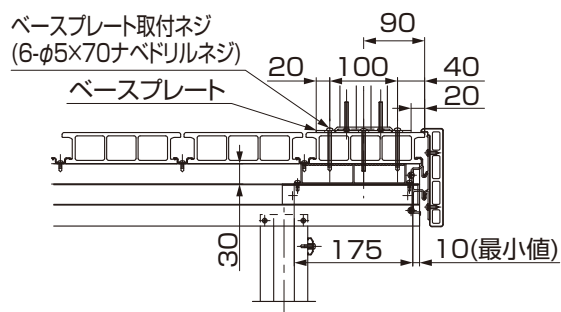
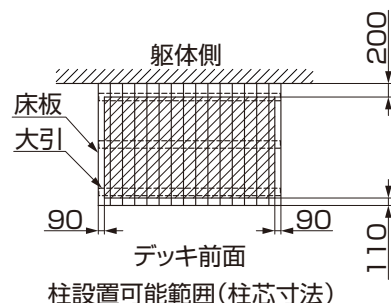
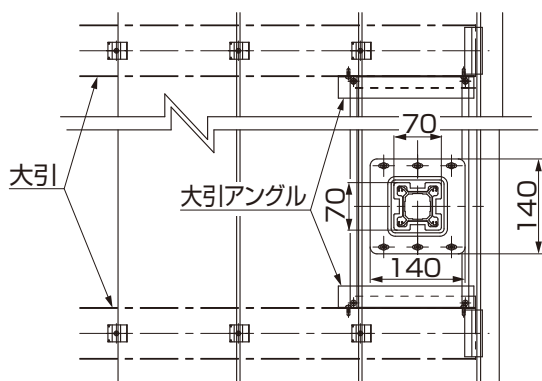


- ①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴(※1)をあけてください。
- ②ベースプレートを床板、正面幕板A取付材、ベースプレート-大引固定アングルに【4-2】で取付けてください。

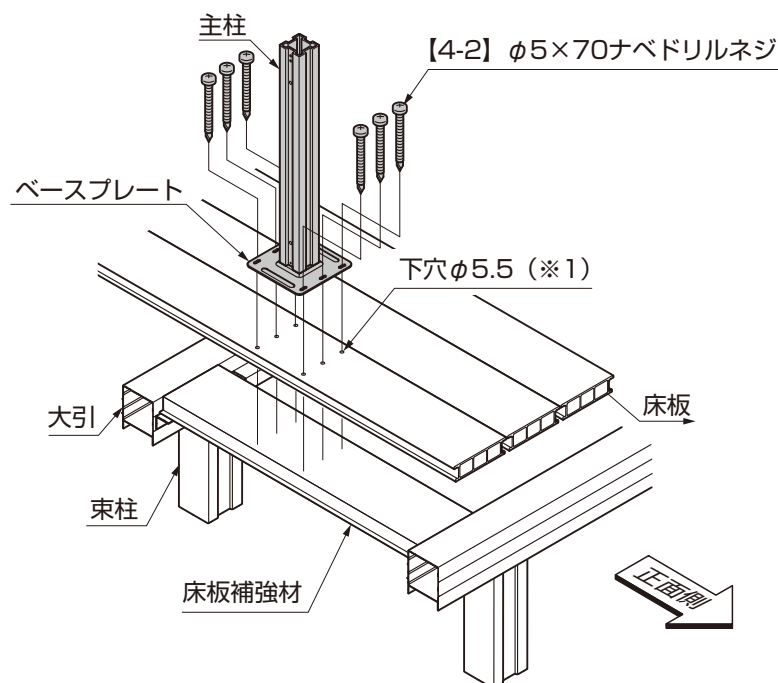
4. 側面床板補強材固定の場合



4-1 柱取付位置の確認



4-2 柱の取付け

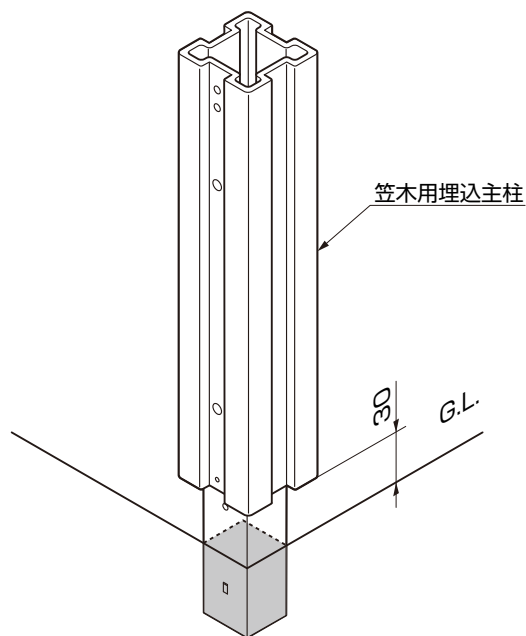


ポイント

- デッキ施工前に補強材を取付けてください。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。
- 床板補強材の取付け詳細は、「樹ら楽ステージ 取付説明書 (E470)」または「樹ら楽ステージ 木彫 取付説明書 (E423)」を参照してください。

- ①ネジ位置をマーキングし、床板にφ5.5の下穴（※1）をあけてください。
- ②ベースプレートを床板と床板補強材に【4-2】で取付けてください。

6 柱の埋込み ※埋込仕様の場合のみ



①柱を「3 基本寸法と各部名称 2. 基本寸法図」を参照して建込んでください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

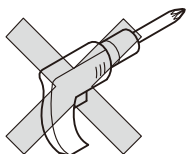
.....

.....

.....

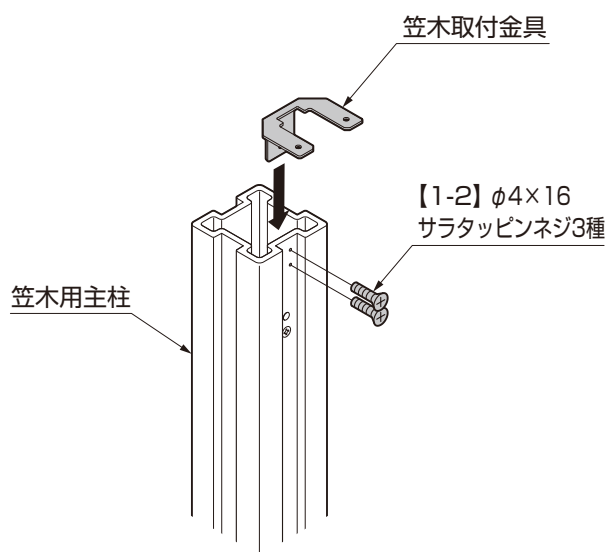
7 笠木取付金具の取付け

ポイント

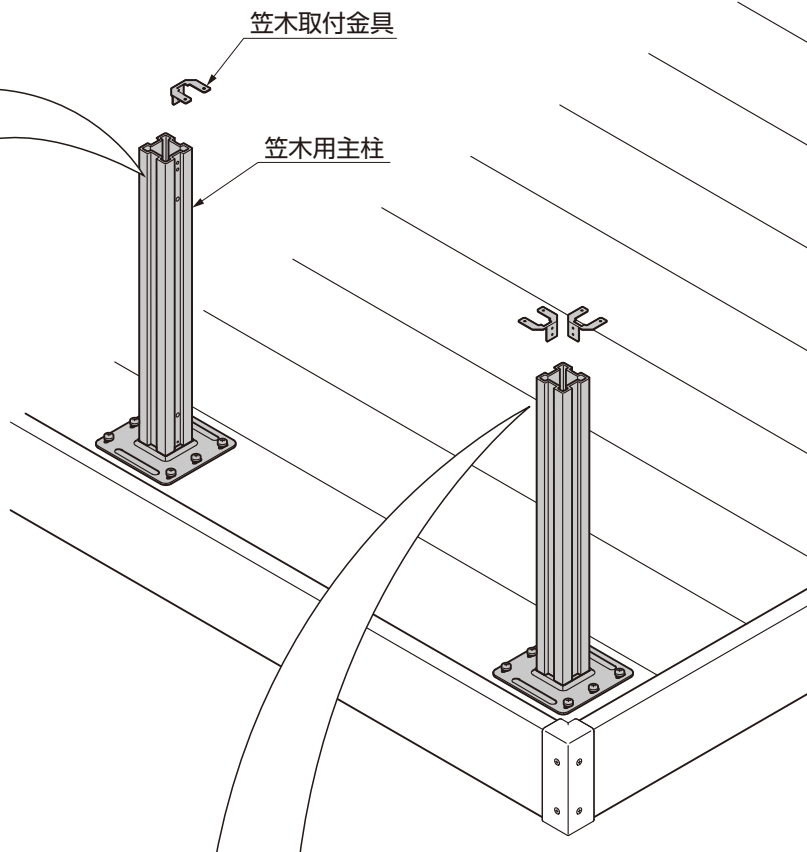


- 笠木取付金具の取付けは電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れるおそれがありますので注意してください。

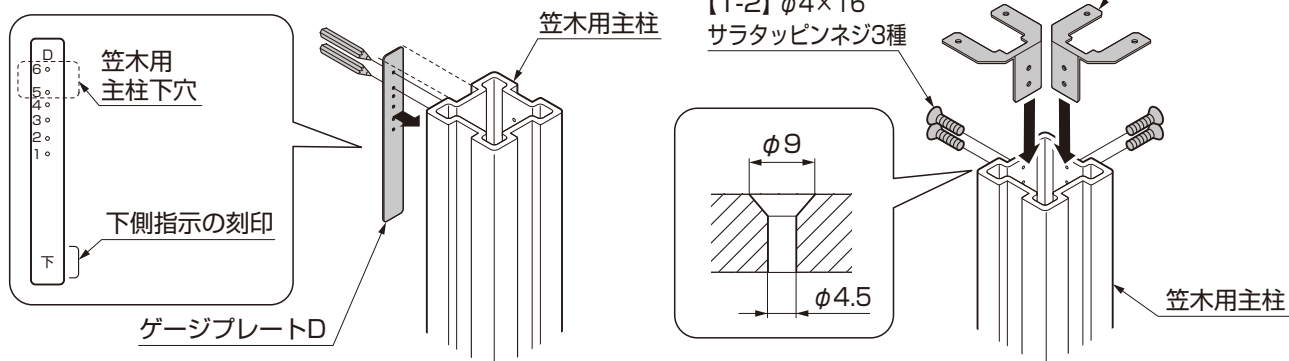
1-1 端部の場合



- ①笠木用主柱に笠木取付金具を、【1-2】で固定してください。



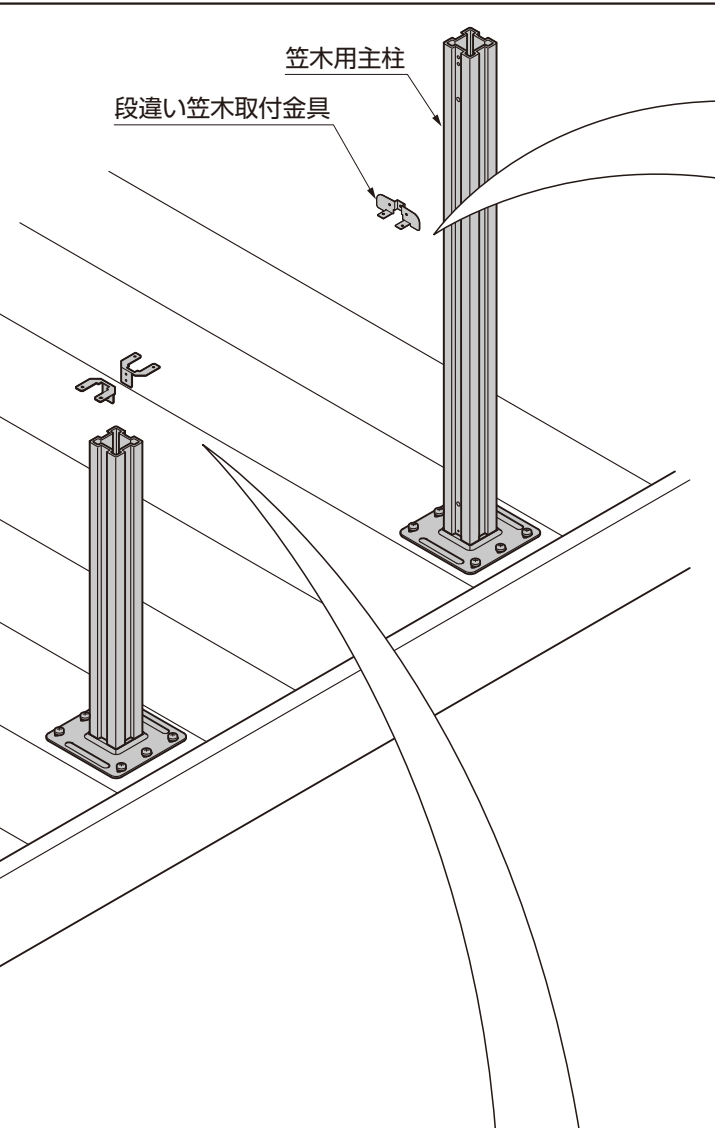
1-2 コーナー部の場合



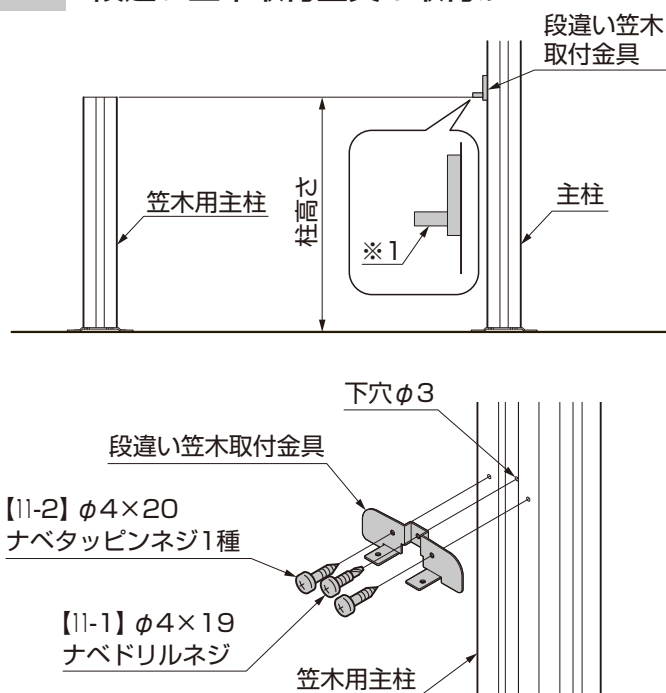
- ①笠木用主柱とゲージプレートDの上面を合わせて「5」、「6」の位置に印をつけ、φ4.5の下穴とφ9サラ取り加工をしてください。
- ②笠木取付金具を笠木用主柱に【1-2】で固定してください。

ポイント

- ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下にしてください。
- アルミ柱の場合はφ5の下穴をあけ、笠木取付金具を笠木用主柱に【2-1】で取付けてください。



1-4 段違い笠木取付金具の取付け

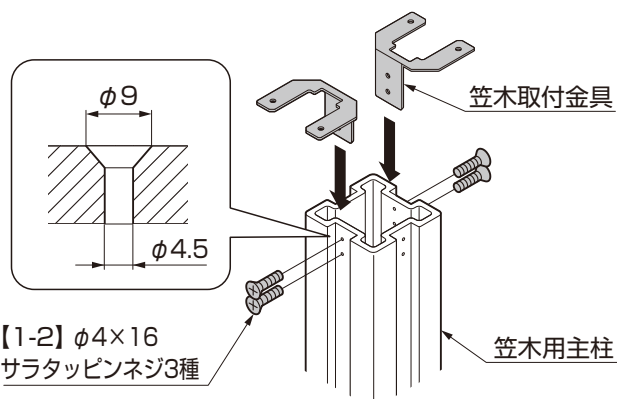
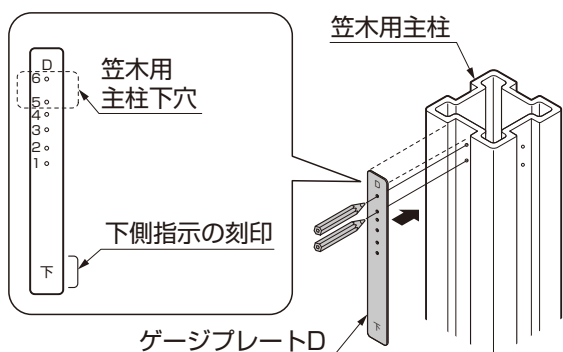


- ① 笠木用主柱の高さを実測し、 $\phi 3$ の下穴をあけてください。
- ② 段違い笠木取付金具の中心の穴を、笠木用主柱に【11-1】で、両端の穴を【11-2】で取付けてください。

ポイント

- 柱の上面と段違い笠木取付金具の下面(※1)が同じ高さになるように、取付けてください。

1-3 中間部の場合



- ① 笠木用主柱とゲージプレートDの上面を合わせて「5」、「6」の位置に印をつけ、 $\phi 4.5$ の下穴と $\phi 9$ サラ取り加工をしてください。
- ② 笠木取付金具を笠木用主柱に【1-2】で固定してください。

ポイント

- ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下にしてください。
- アルミ柱の場合は $\phi 5$ の下穴をあけ、笠木取付金具を笠木用主柱に【2-1】で取付けてください。

8 パネルの事前準備

1. パネルの切詰め

1-1 パネルの切詰め（フラットラチス、井桁格子パネル）

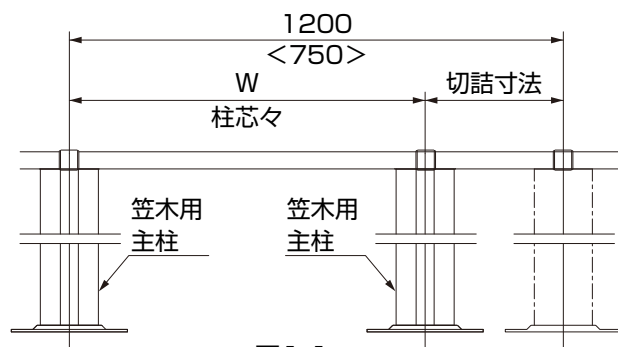


図1-1

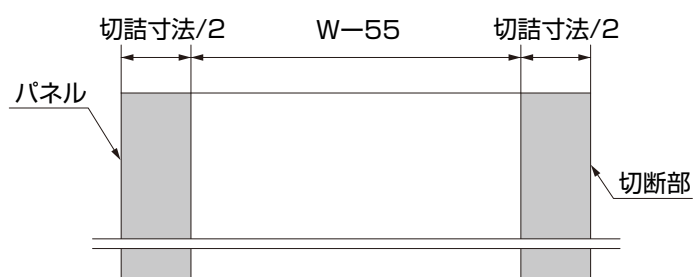


図1-2

①切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。

②パネルを「W-55mm」で両端から同ピッチで切断してください。

ポイント

●井桁格子パネルの切詰は以下の通りにしてください。

- ・ W1200 : 138mmピッチ
- ・ W750 : 両端120mm
両端以外138mmピッチ

1-2 横ビームパネルの切詰め

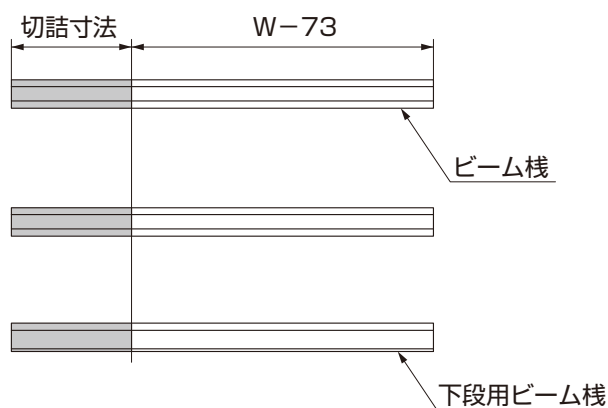
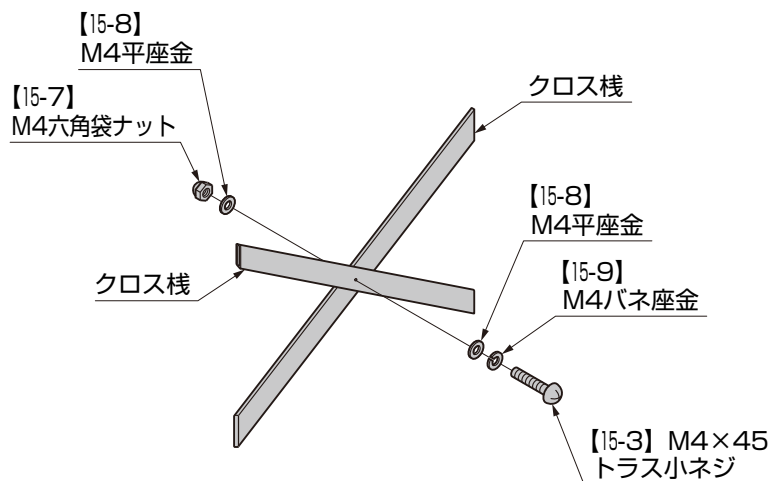


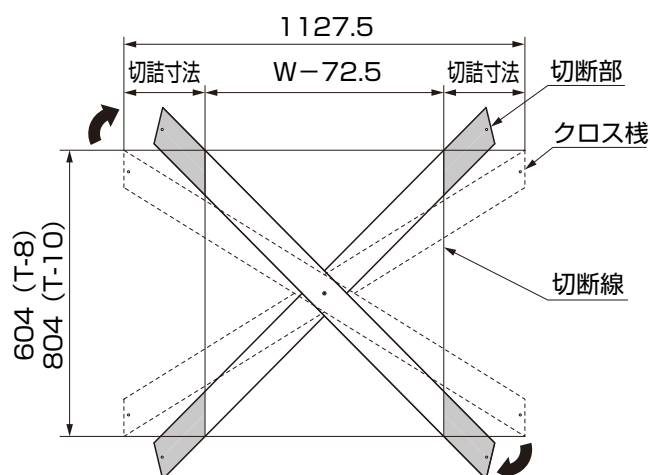
図1-3

①ビーム棧と下段用ビーム棧を「W-73mm」で切断してください。

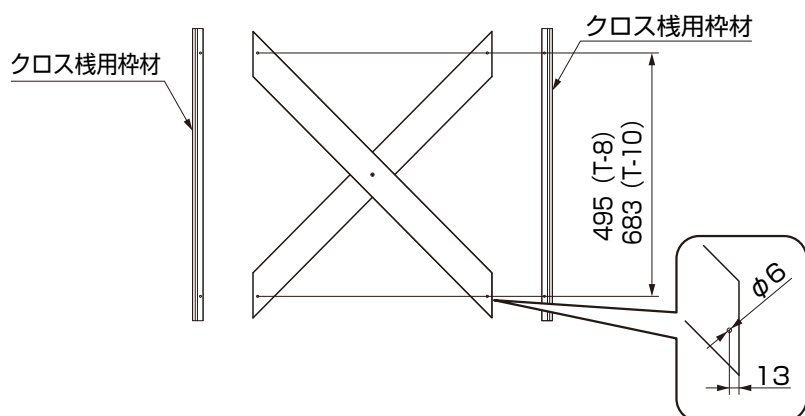
1-3 クロスパネルの切詰め



①クロス棧の中心に【15-3】、【15-7】、【15-8】、【15-9】を仮止めしてください。



②クロス棧を「W-72.5mm」の全体寸法になるように、左右均等に切断してください。

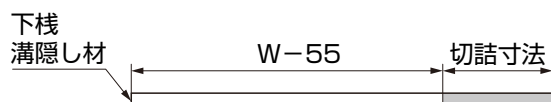


③クロス棧に、 $\phi 6$ の穴をあけてください。
(図1-4参照)

④下棧溝隠し材を「W-55mm」に切断してください。

⑤加工後、仮止めした【15-3】、【15-7】、【15-8】、【15-9】をはずしてください。

図1-4



1. (つづき)

1-4 ポリカパネルの切詰め (プライバシーパネル)

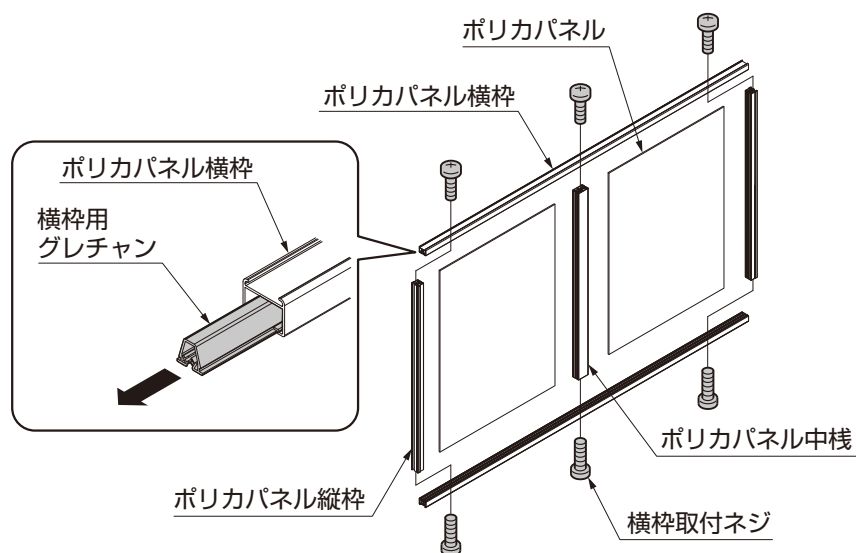


図1-5

- ①ポリカパネルを分解してください。
- ②ポリカパネル横枠から横枠用グレチャンを取出してください。(図1-5参照)

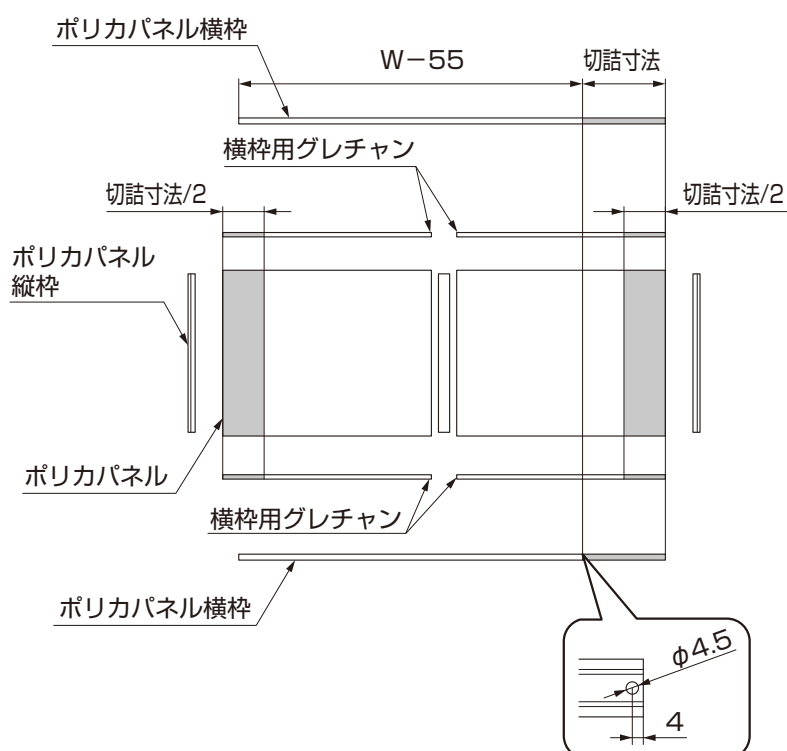
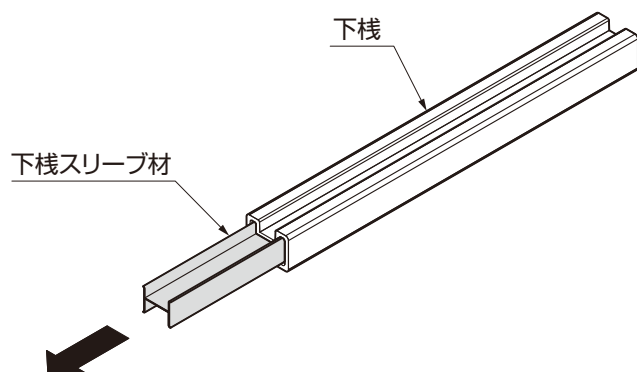


図1-6

- ③ポリカパネル横枠を「W-55mm」で切断してください。
- ④横枠用グレチャン、ポリカパネルを両端から切断してください。
- ⑤ポリカパネル横枠に切断した側から4mmのところからφ4.5の穴をあけてください。(図1-6参照)
- ⑥加工後、再度組立ててください。

2. 下棧の切詰め ※横ビームパネルには行なわない作業です。



- ①下棧スリーブ材を取り出してください。
- ②下棧を「W-70mm」、下棧スリーブ材を「W-68mm」で切断してください。

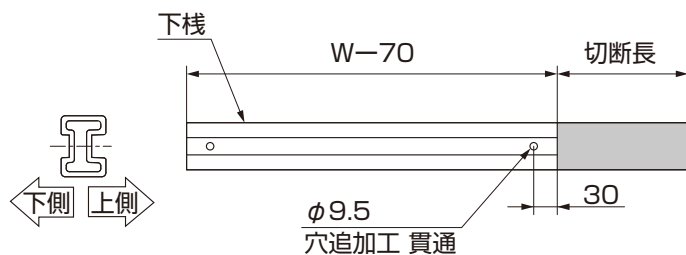


図2-1

ポイント

- 下棧と下棧スリーブ材の穴は上側から下側まで貫通してあげてください。

- ④下棧を切断した側から30mmで $\phi 9.5$ の下穴を貫通してあげてください。
(図2-1 参照)

- ⑤下棧スリーブ材を切断した側から29mmのところに $\phi 6$ の下穴をあけてください。
(図2-2 参照)

- ⑥加工後、再度組立ててください。

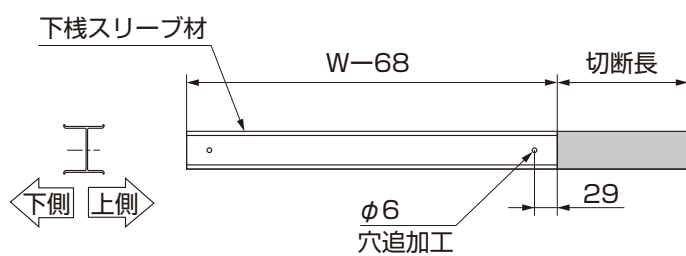
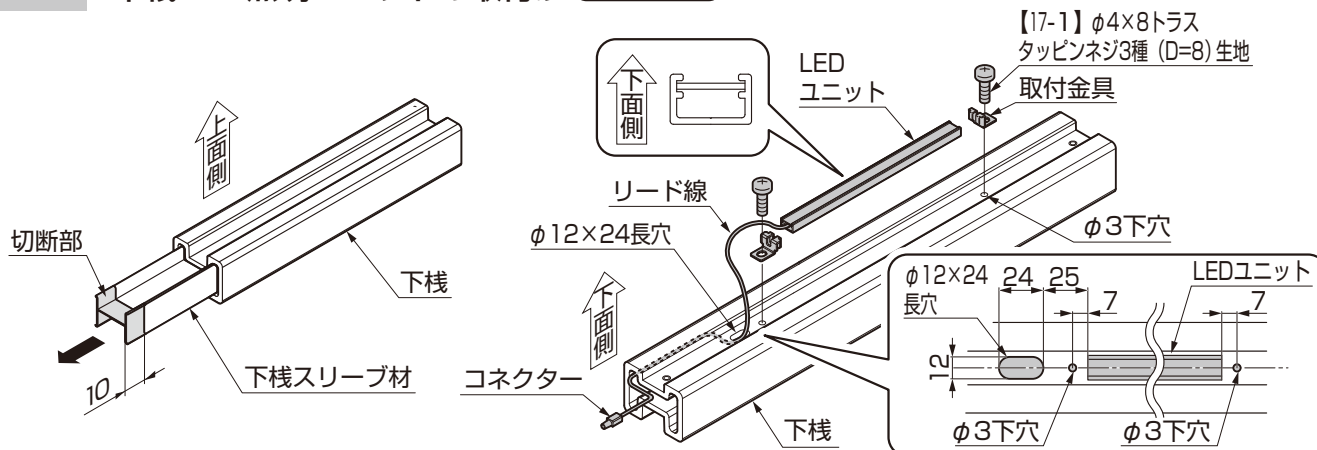


図2-2

9 パネルの取付け

1. 下棧の取付け ※横ビームパネルには行なわない作業です。

1-1 下棧LED照明ユニットの取付け **オプション** ※クロスパネルは対応していません。

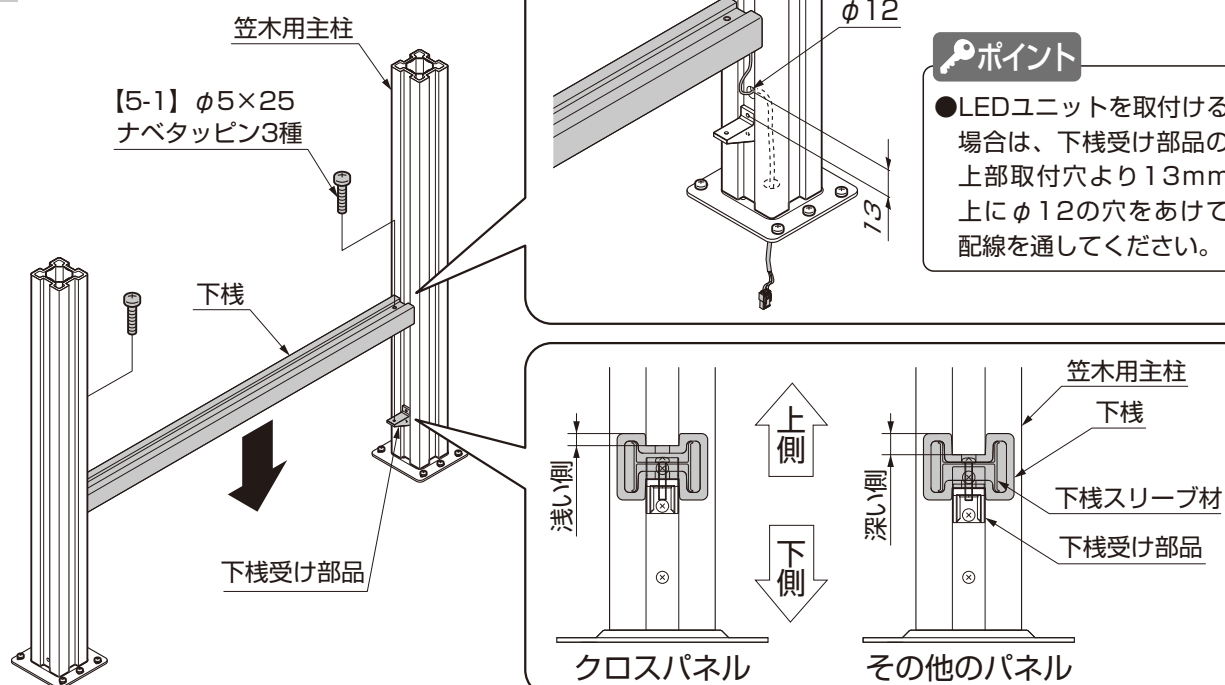


- ①下棧スリーブ材を抜き取り、配線を通す側のスリーブ材の端部を切断してください。
- ②LEDユニットを取付ける位置を確認して、下棧の溝に $\phi 12 \times 24$ 長穴と取付金具固定用の $\phi 3$ 下穴をあけてください。
- ③LEDユニットのリード線と渡り配線は、コネクターでジョイントしてから下棧に通してください。
- ④LEDユニットを下棧に取付金具で固定してください。

ポイント

- 下棧スリーブ材を下棧に差し込む際、配線に引っかかって、傷付くおそれがあります。強く入れずに慎重に差し込んでください。

1-2 下棧の取付け



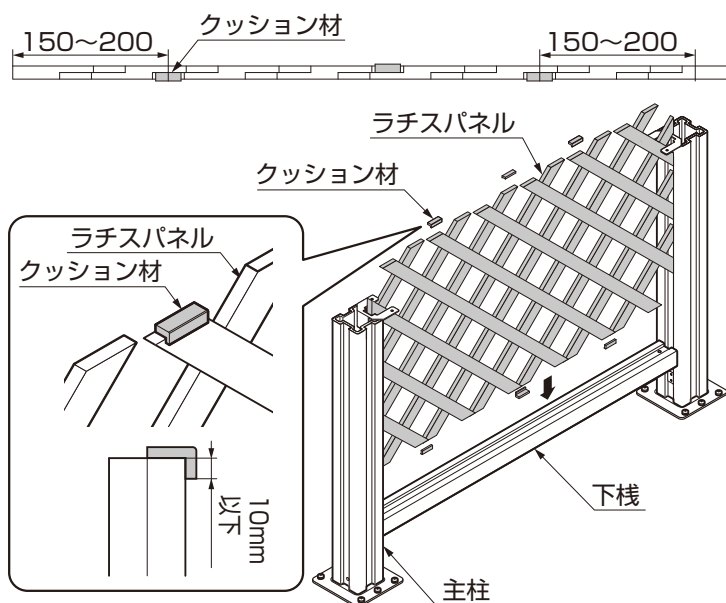
- ①下棧を下棧受け部品に【5-1】で取付けてください。

ポイント

- 下棧はパネルの種類によって上下が異なります。
- LEDユニットを取付ける場合は、予めベースプレートが取付く面の床板に $\phi 12$ の貫通穴をあけてください。
- 配線方法などの詳細は「コーピング〈A535〉」の取付説明書を参照してください。

2. パネルの取付け

2-1 ラチスパネルの取付け



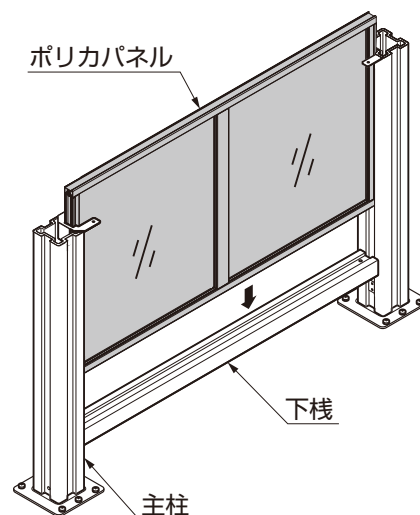
①クッション材をラチスパネルに貼り付けてください。

ポイント

●クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げてください。

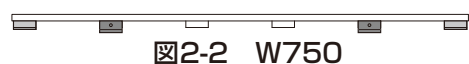
②主柱と下棧の溝に、ラチスパネルを挿入してください。

2-2 ポリカパネルの取付け (プライバシーパネル)



①主柱と下棧の溝に、ポリカパネルを挿入してください。

2-3 井桁格子パネルの取付け



- : クッション材 (上・下)
- : 格子パネル振れ止め (上のみ)

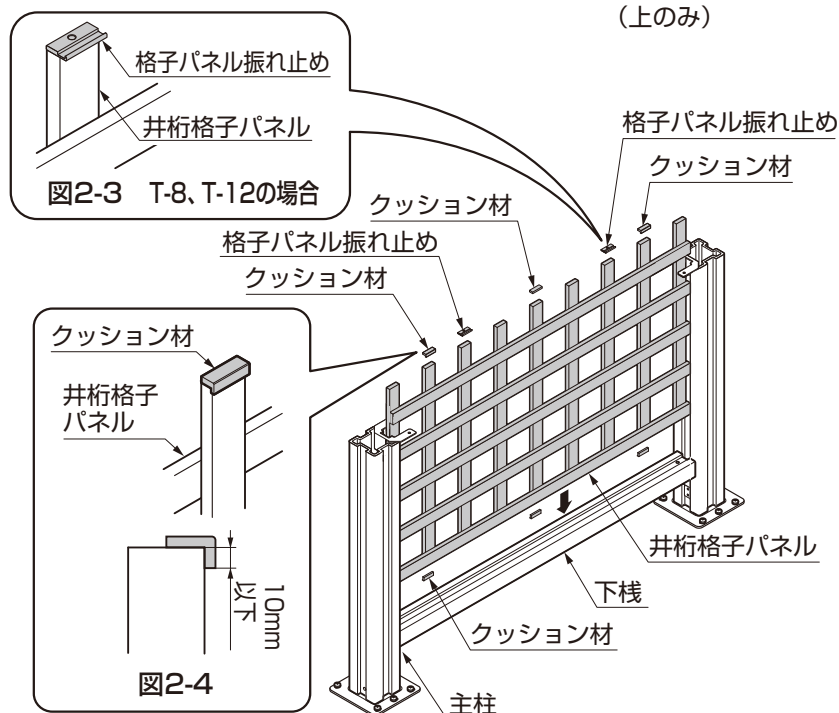


図2-3 T-8、T-12の場合

①クッション材を井桁格子パネル上・下に貼り付けてください。

ポイント

●W750パネルは上下4ヶ所に貼付けてください。

●クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げてください。(図2-4参照)

②主柱と下棧の溝に、井桁格子パネルを挿入してください。

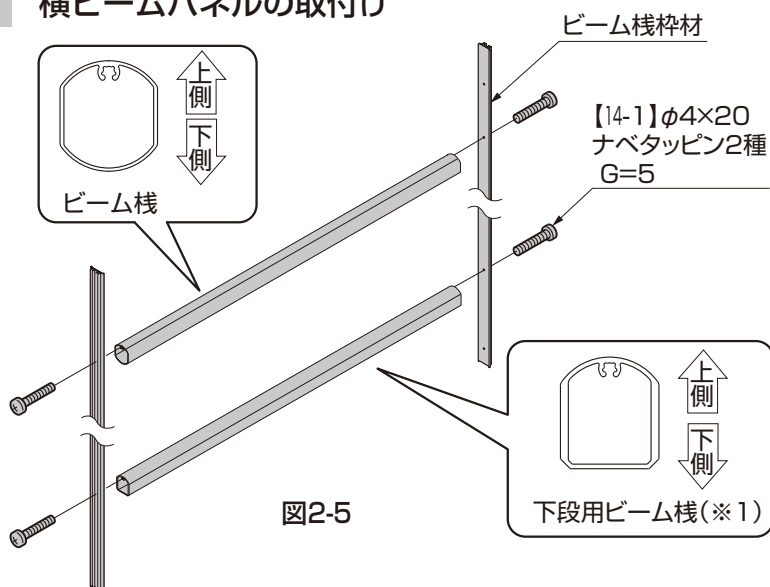
③T-8、T-12の場合、井桁格子パネル上部のみに、格子パネル振れ止めを取付けてください。(図2-3参照)

ポイント

●W750パネルの場合は、両端より2番目になります。

2. (つづき)

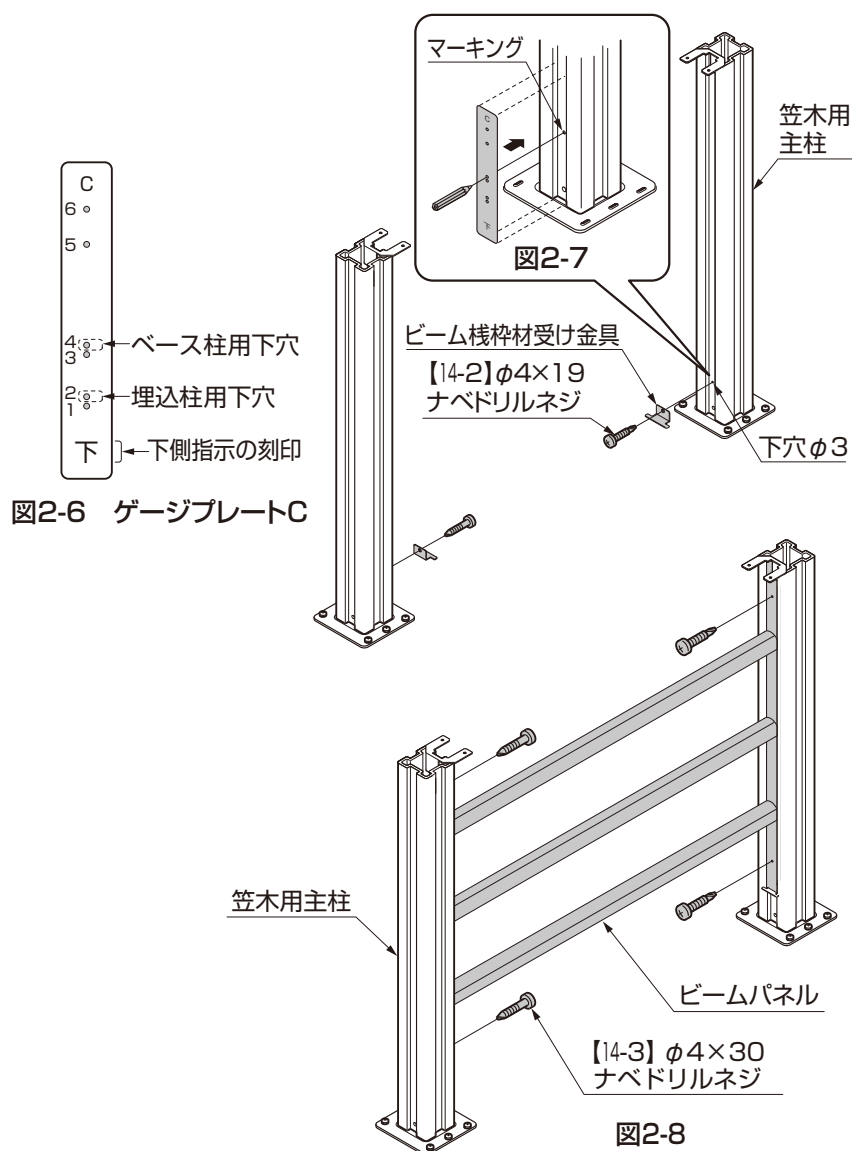
2-4 横ビームパネルの取付け



①ビーム架および下段用ビーム架をビーム架材に【14-1】で取付けてください。

ポイント

- ビーム架は、ビーム架材の、両端から1つ目の加工穴以外に取付けてください。
- サイズによってビーム架の本数が異なります。
- ビーム架には上下があります。(図2-5参照)
- 下段用ビーム架は下側だけに組付けてください。(※1)



②笠木用主柱とゲージプレートCの下面を合わせ、印を付け、φ3の下穴をあけてください。

ポイント

- ゲージプレートCには上下があります。
- ベース柱には「4」の穴を使用してください。埋込柱には「2」の穴を使用してください。(図2-6参照)

③ビーム架材受け金具を笠木用主柱に【14-2】で取付けてください。

④ビームパネルをスライドさせて取付けてください。

⑤笠木用主柱にφ3の下穴をあけ、ビームパネルを【14-3】で固定してください。

2-5 クロスパネルの取付け

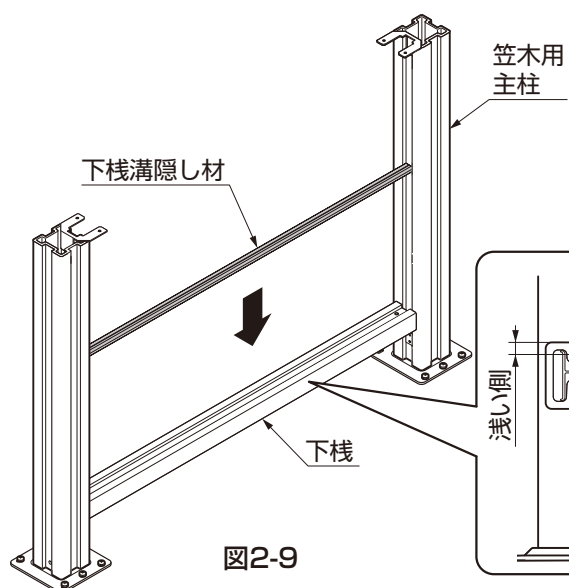


図2-9

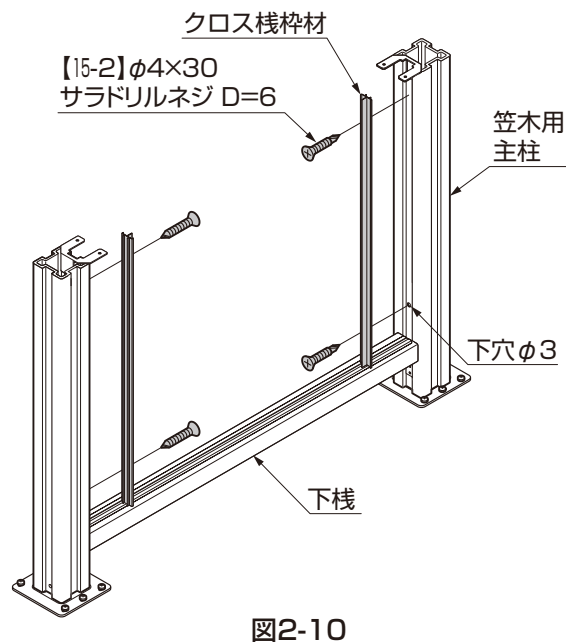
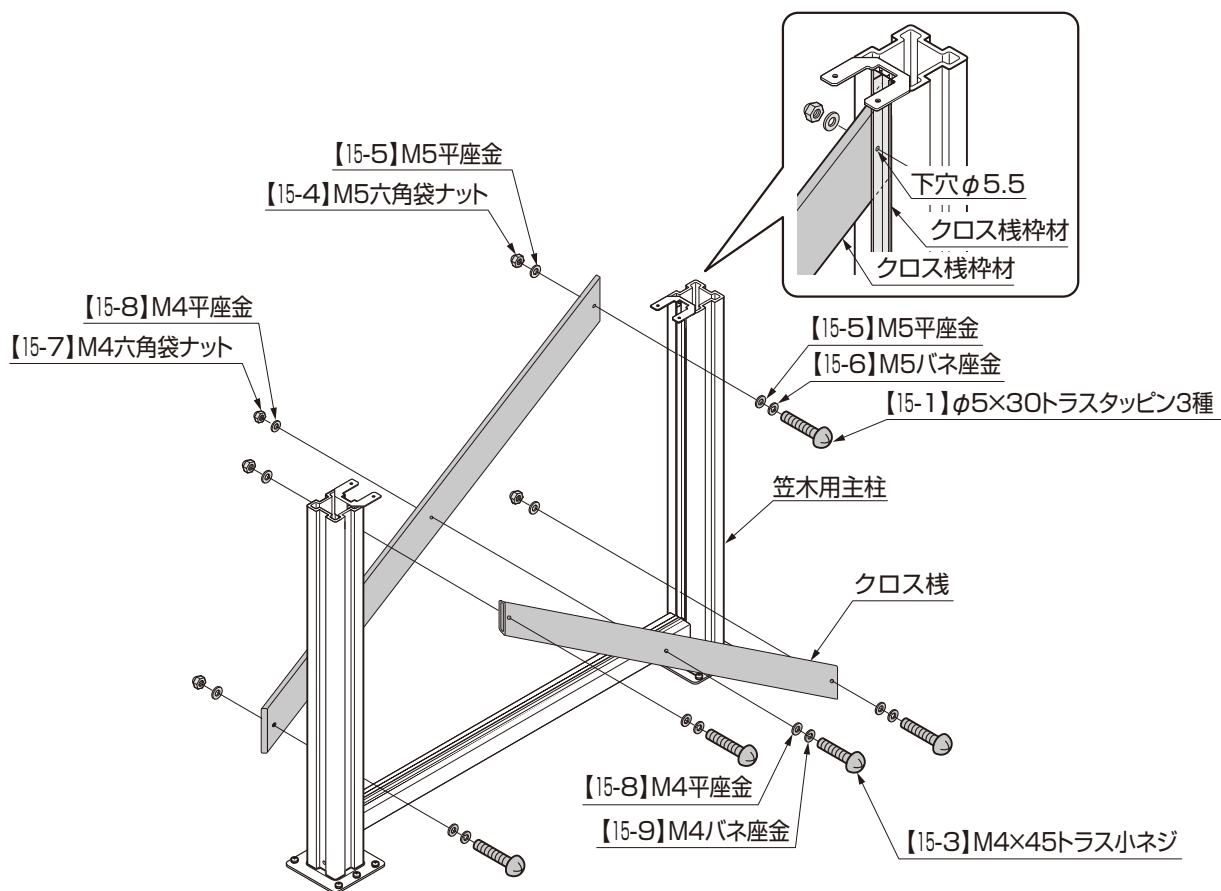


図2-10

①下枠溝隠し材を下枠の溝に取付けてください。

②笠木用主柱溝部の下側にφ3の下穴をあけてください。

③クロス枠材を笠木用主柱溝部に【15-2】で取付けてください。



④クロス枠の中心に【15-3】、【15-7】、【15-8】、【15-9】で固定してください。

⑤クロス枠材にφ5.5の下穴をあけてください。

⑥クロス枠材にクロス枠を【15-1】、【15-4】、【15-5】、【15-6】で取付けてください。

10 笠木の取付け

1-1 コーナー部の取付け

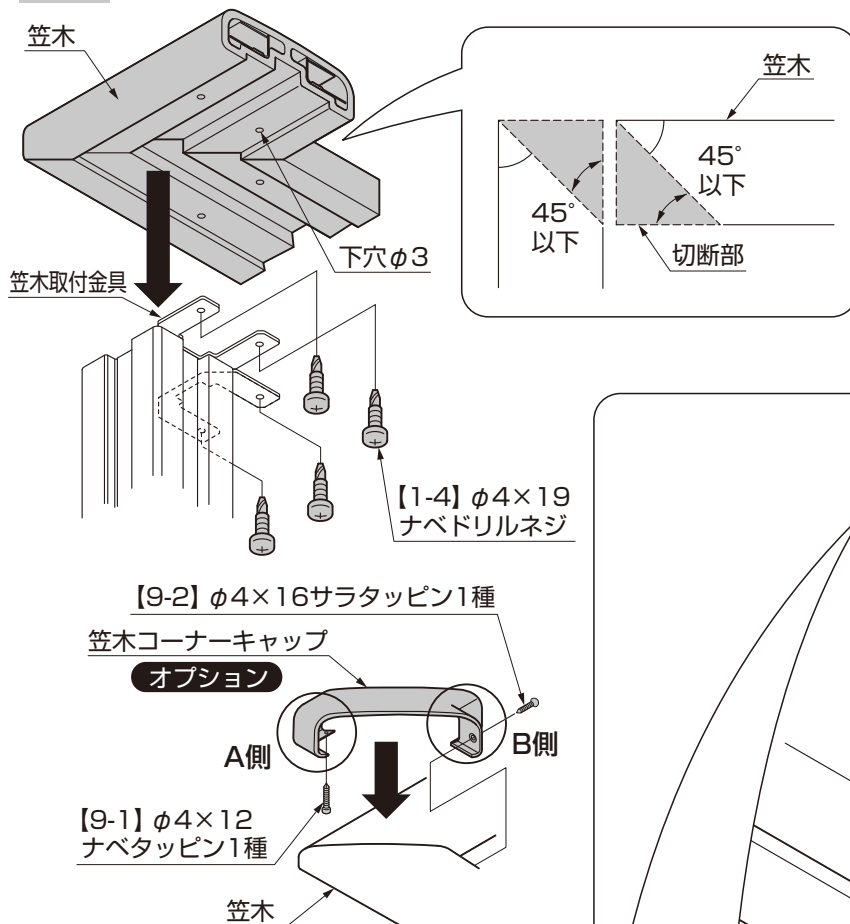
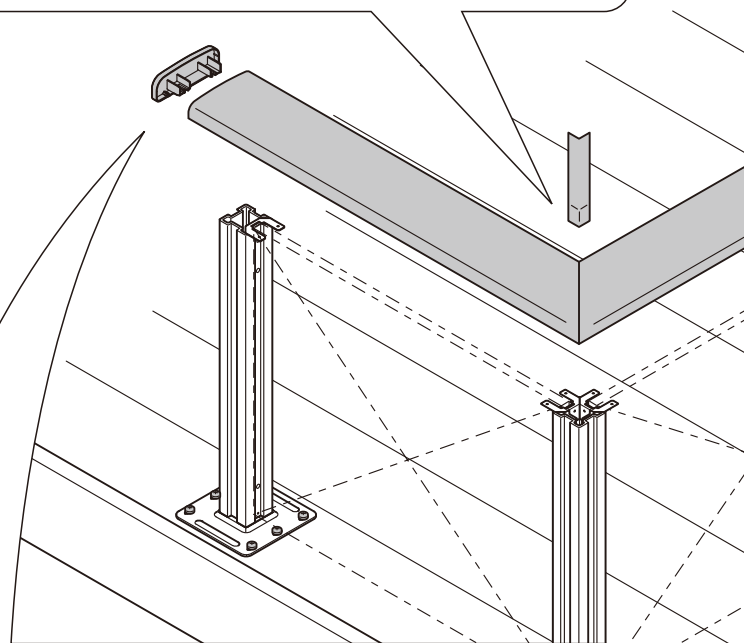
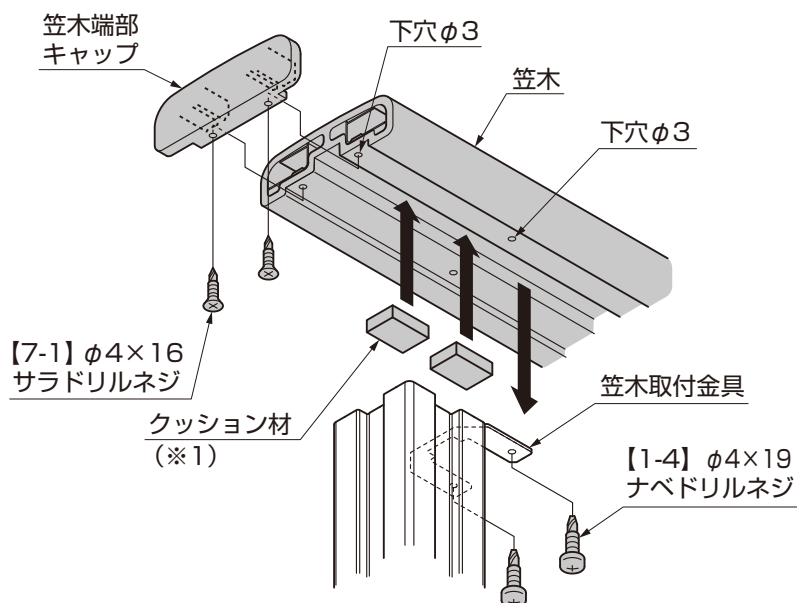


図1-1 オプションを使用する場合

- ① 笠木の加工は、端部を45°カットしてください。
- ② 笠木にφ3の下穴をあけてください。
- ③ 連結した笠木を笠木取付金具に【1-4】で取付けてください。
- ④ 笠木コーナーキャップを使用する場合、キャップのA側を笠木に差込み、B側を上に向けてキャップをはめてください。
- ⑤ 笠木コーナーキャップを笠木に、【9-1】、【9-2】でキャップを固定してください。



1-2 端部の取付け



- ① 笠木にφ3の下穴をあけてください。
- ② 笠木端部キャップを笠木に、【7-1】で固定してください。
- ③ 笠木を笠木取付金具に【1-4】で取付けてください。

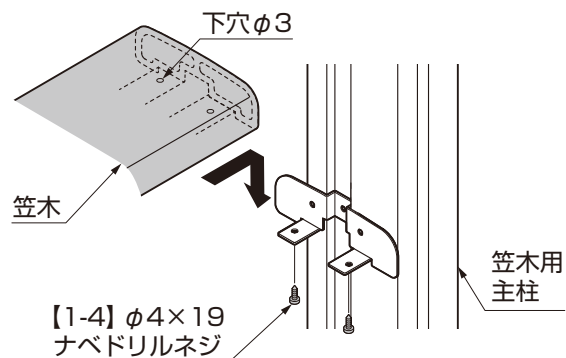
ポイント

- アルミ柱に笠木を取付ける場合のみ、笠木の溝にクッション材を貼り付けて下さい。

補足

- フラットラチスパネル以外のパネルには面材側の溝にクッション材(※1)を貼り付ける必要はありません。

1-3 段違い笠木の取付け **オプション**



- ① 笠木にφ3の下穴をあけてください。
- ② 連結する笠木を段違い笠木取付金具に、【1-4】で固定してください。

1-4 中間部の取付け

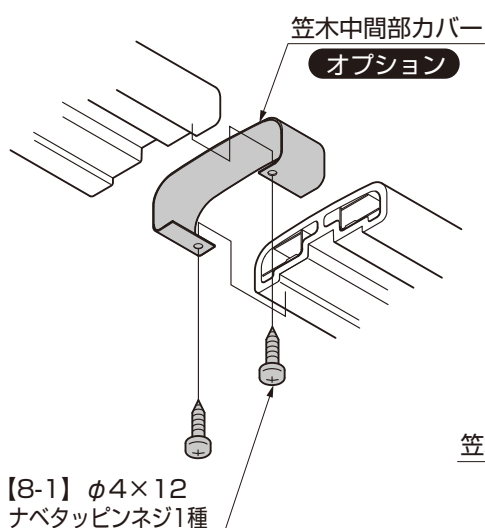
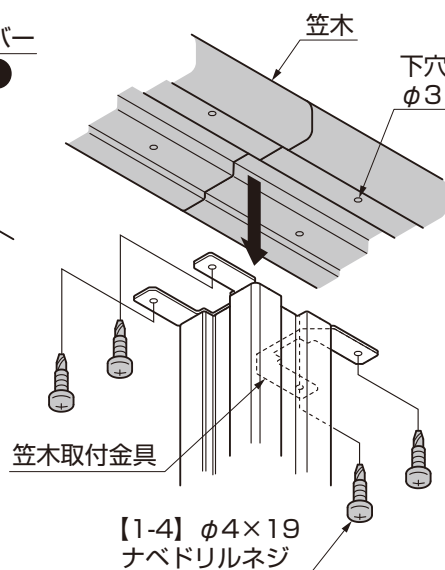


図1-2 オプションを使用する場合



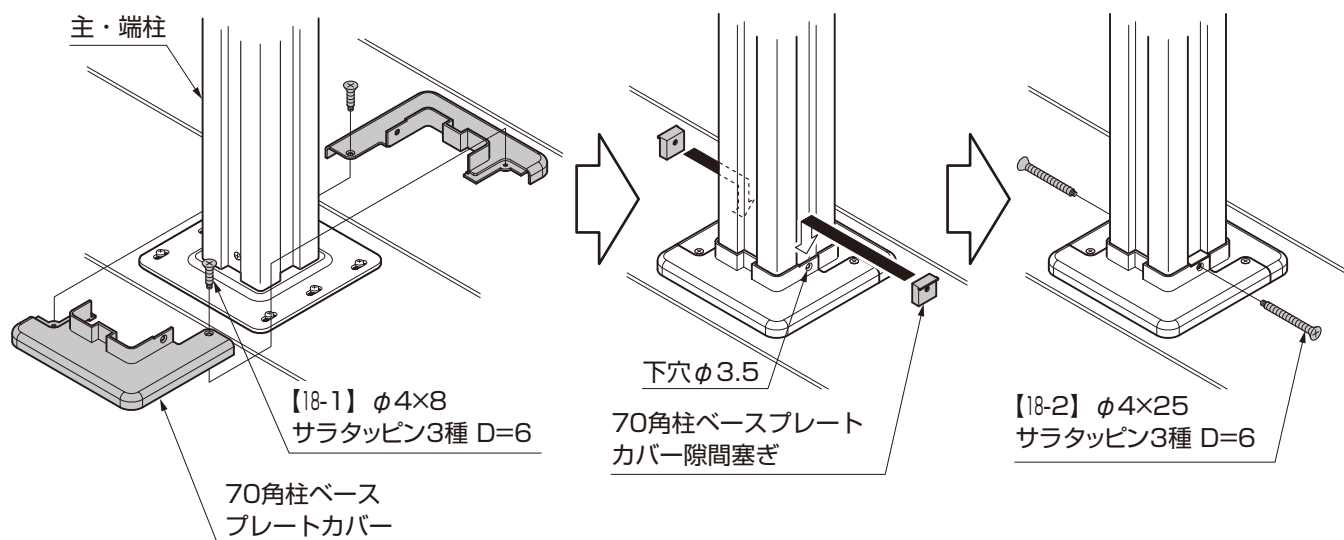
ポイント

- 笠木中間部カバーを使用する場合は、あらかじめ笠木に差込んでおいてください。

- ① 笠木中間部カバーを笠木に【8-1】で固定してください。
- ② 連結した笠木を笠木取付金具にあてがい、φ3の下穴をあけてください。
- ③ 連結した笠木を笠木取付金具に【1-4】で固定してください。

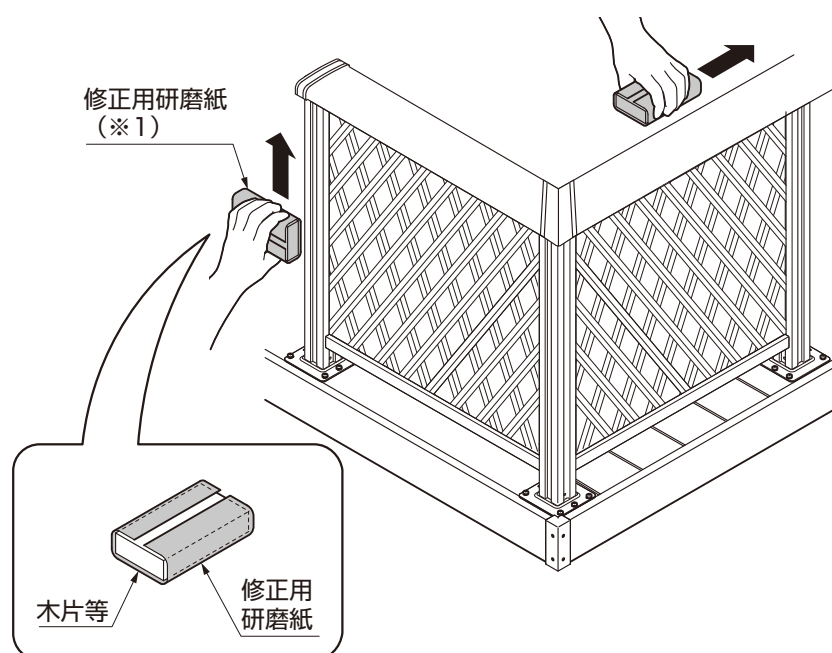
11 施工後の仕上げ ※ベース仕様の場合のみ

1. ベースプレートカバーの取付け **オプション**



- ①70角柱ベースプレートカバーを図の向きで柱を囲むように組み、【18-1】で固定してください。
- ②柱にφ3.5の下穴をあけてください。
- ③70角柱ベースプレートカバー隙間塞ぎを柱と70角柱ベースプレートカバーのすき間に入れてください。
- ④70角柱ベースプレートカバーを柱に、70角柱ベースプレートカバー隙間塞ぎとともに【18-2】で固定してください。

2. 仕上げ



- ①施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している修正用研磨紙で補修してください。

ポイント

- 強くこすりすぎないでください。下地が出てしまうおそれがあります。
- 一定方向にこすってください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

補足

- 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

取説コード

E358

JZZ626033B
201305A_1039
201912C_1049